

BEST AVAILABLE COPY

(12) 公開特許公報 (A) (11) 特許出版願番号
特開 2000-35

特開2000-357071
(P2000-357071A)
(43)公開日 平成12年12月26日(2000.12.26)

識別記号

ワーク・（参考）

G06F	3/12
	13/00
	17/30
G06M	11/00

HO 4M 11/08

13/00	3 5 4	D
H04M	11/08	
G06F	15/40	3 7 0 Z

有 審查請求

(全64頁)

(21) 出願番号 特願平11-361129

(71)出願人 000001007

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(172) 發明者 里見 宏

(33) 飯佐植主張國 日本 (J P)

(54) 【発明の名称】 情報提供システム及び情報提供方法

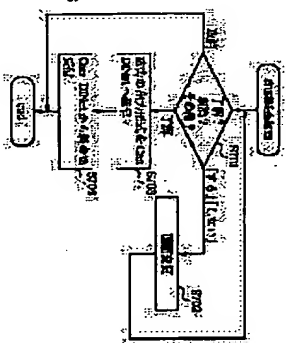
(57) 【要約】

is decided which button is pressed (S701). When a 'cancel' button is pressed, the process is ended without setting advertisement. When an 'OK' button is

【課題】 情報を提供サービスは、出力コスト（電話代、紙代など）は利用者負担である。必要な情報の入手は、要求してから時間がかかる。

transmitted to a Candinet control part (S703) and a print charge determined by taking the output format of the advertisement into account is received. The Candinet control part calculates a print charge on the basis of the charge of an information provider when no advertisement is printed. When

advertisement is printed, the discount charge based upon the advertisement printing is subtracted from the calculated print charge to recalculate a print charge.



最終頁に続く

とによって広告料金をその印刷回数から算出でき、上掲を付けてそれまで、印刷料に充じて現金することができ、広告提供者が、無制限に契約料金を払わなければならないことがなくなる。

Figure 1 is a screenshot of a computer screen displaying a printing job setup interface. The interface includes a table for job details, a text box for the current job's page count and cost, and a row of four buttons for navigation. Callout lines with numbers point to various elements:

- 1001: Points to the 'P-Code' column header.
- 1002: Points to the 'Title (Content)' column header.
- 1003: Points to the 'Page Count' column header.
- 1004: Points to the 'Cost' column header.
- 1005: Points to the 'Print' column header.
- 1006: Points to the 'Color' option in the 'Print' column.
- 1007: Points to the 'Black and White' option in the 'Print' column.
- 1008: Points to the 'No' option in the 'Print' column.
- 1009: Points to the 'Current Page Count and Cost' text box.
- 1010: Points to the 'Advertisement Setting' button.
- 1011: Points to the 'Print Preview Display' button.
- 1012: Points to the 'Print' button.
- 1013: Points to the 'Back' button.
- 1014: Points to the 'Cancel' button.

The table shows two jobs:

P-Code	Title (Content)	Page Count	Cost	Print
1842-2417	NFL 試合結果	1	70	カラー 白黒 しない
1842-2450	天皇賞オッズ及び当社予想	1	70	カラー 白黒 しない

The text box indicates: 現在の印刷頁数は 2 頁 料金は 140 円です。掲載広告によって 0 円の割引になります。

The buttons at the bottom are: 印刷プレビュー表示, 印刷, 戻る, and 取消.

1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 出力すべき出力情報に対する値を示す第 1 価値情報を記憶する第 1 記憶手段と前記出力情報に付加される付加情報に対する値を示す第 2 価値情報を記憶する第 2 記憶手段とから情報の読み出しを制御する読み出し制御手段と、

前記出力情報の第 1 価値情報と、当該出力情報に付加される前記付加情報の第 2 価値情報とに基づいて、当該出力情報及び当該付加情報を用いる際の出力の対面を決定する決定手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 前記出力情報は数値であり、

前記第 1 価値情報は前記数値の出力情報に対応していることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記付加情報は数値であり、

前記第 2 価値情報は前記数値の付加情報に対応していることを特徴とする請求項 1 或いは 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】 前記決定手段によって決定される前記出力の対面は、前記第 1 価値情報に対応する金額から、前記第 2 価値情報に対応する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項 1乃至 3 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 5】 前記決定手段によって決定される前記出力の対面は、出力を行なうことに対する金額と前記第 1 価値情報に対応する金額とから、前記第 2 価値情報に対応する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項 1乃至 3 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 6】 前記決定手段によって決定された前記出力の対面が 0 になる場合があることを特徴とする請求項 1乃至 5 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 7】 前記決定手段は、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が 0 になるように前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項 4 或いは 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】 前記決定手段は、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が所定の値になるように前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項 4 或いは 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】 前記付加情報は、前記出力情報に付加されて出力された回数を示す異性情報に基づいて、前記出力情報に付加されるか否かが制御されることを特徴とする請求 1乃至 8 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 10】 前記出力の対面は、出力がカラー出力である場合と出力が白黒出力である場合とでは、異なることを特徴とする請求項 1乃至 9 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 11】 前記出力情報に前記付加情報を付加するか否かを判定する判定手段を有し、

2

前記決定手段は、前記出力情報に前記付加情報を付加しないと判定された場合、前記第 1 価値情報に対応する金額と、出力を行なうことに対する金額とに基づいて、前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項 1乃至 10 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 12】 出力は、白黒出力であることを特徴とする請求項 1乃至 11 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 13】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項 1乃至 12 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 14】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項 1乃至 13 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 15】 前記出力情報を示すコード情報を入力する入力手段を有することを特徴とする請求項 1乃至 14 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 16】 前記コード情報は、携帯電話等、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを特徴とする請求項 1乃至 15 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 17】 出力は、電子写真方式のプリンタ部によって遂行されることを特徴とする請求項 1乃至 16 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 18】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって遂行されることを特徴とする請求項 1乃至 16 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 19】 出力は、決処理機能を用いることを特徴とする請求項 1乃至 18 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 20】 出力は、個人認証機能を用いることを特徴とする請求項 1乃至 19 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 21】 出力は、裏面の出力が可能な両面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項 1乃至 20 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 22】 出力は、前記出力の対面の支払のためのコインカウンスの存在を前提としていることを特徴とする請求項 1乃至 21 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 23】 前記出力情報を取得するための外部とのインタフェースの存在が前提であることを特徴とする請求項 1乃至 22 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 24】 前記情報処理装置は、出力のために外部の装置のステータス情報を記憶することを特徴とする請求項 1乃至 23 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 25】 出力情報を特定するためのコード情報を入力するコード入力手段と、

出力情報を出力する際の設定情報を入力する設定入力手段と、

3

前記コード入力手段により入力された前記コード情報と前記設定入力手段により入力された設定情報とを外部装置に送信する送信手段と、

前記送信手段により送信されたコード情報により特定される前記出力情報の値を示す第 1 価値情報と、当該出力情報に付加されて出力される付加情報の値を示す第 2 価値情報とに基づいて前記外部装置により決定される出力の対面を示す対面情報を、前記外部装置から受信する受信手段とを有することを特徴とする出力制御装置。

【請求項 26】 前記出力情報は数値であり、

前記第 1 価値情報は、前記数値の出力情報に対応していることを特徴とする請求項 25 或いは 26 に記載の出力制御装置。

【請求項 27】 前記付加情報は数値であり、

前記第 2 価値情報は、前記数値の付加情報に対応していることを特徴とする請求項 25 或いは 26 に記載の出力制御装置。

【請求項 28】 決定される前記出力の対面は、前記第 1 価値情報に対応する金額から、前記第 2 価値情報に対応する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項 25乃至 27 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 29】 決定される前記出力の対面は、出力を行うことに対する金額と前記第 1 価値情報に対応する金額とから、前記第 2 価値情報に対応する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項 25乃至 27 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 30】 決定される前記出力の対面は、0 になる場合があることを特徴とする請求項 25乃至 29 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 31】 前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が 0 になるように前記出力の対面が決定されることを特徴とする請求項 28 或いは 29 に記載の出力制御装置。

【請求項 32】 前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が所定の値になるように前記出力の対面が決定されることを特徴とする請求項 28 或いは 29 に記載の出力制御装置。

【請求項 33】 前記付加情報は、前記出力情報に付加されて出力された回数を示す異性情報に基づいて、前記出力情報に付加されるか否かが制御されることを特徴とする請求 25乃至 32 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 34】 前記出力の対面は、出力がカラーである場合と出力が白黒である場合とでは、異なることを特徴とする請求項 25乃至 33 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 35】 前記コード入力手段と前記設定手段とを備える操作部を有していることを特徴とする請求項 25乃至 34 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 36】 出力は、白黒出力であることを特徴と

4

する請求項 25乃至 35 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 37】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項 25乃至 36 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 38】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項 25乃至 37 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 39】 前記コード情報は、携帯電話等、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを特徴とする請求項 25乃至 38 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 40】 出力は、電子写真方式のプリンタ部によって遂行されることを特徴とする請求項 25乃至 39 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 41】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって遂行されることを特徴とする請求項 25乃至 39 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 42】 出力は、決処理機能を用いることを特徴とする請求項 25乃至 41 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 43】 出力は、個人認証機能を用いることを特徴とする請求項 25乃至 42 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 44】 出力は、裏面の出力が可能な両面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項 25乃至 43 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 45】 出力は、情報出力の対面の支払のためのコインカウンスの存在を前提としていることを特徴とする請求項 25乃至 44 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 46】 前記送信手段により送信された前記コード情報により特定される出力情報を受信する情報受信手段を有することを特徴とする請求項 25乃至 45 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 47】 前記外部装置とはネットワークを介して接続されていることを特徴とする請求項 25乃至 46 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 48】 状態を前記外部装置に送信する状態送信手段を有することを特徴とする請求項 25乃至 47 のいずれかに記載の出力制御装置。

【請求項 49】 情報処理装置と出力制御装置とがネットワークを介して接続されている情報送信システムにおいて、

出力情報を特定するためのコード情報を入力するコード入力手段と、

前記コード入力手段により入力された前記コード情報を送信するコード送信手段とを有し、

50

出力すべき出力情報に対する第1価値情報と記憶する第1記憶手段と前記出力情報に付加される付加情報に対する価値を示す第2価値情報を記憶する第2記憶手段とから情報の読み出しを制御する読み出し制御手段と、前記コード情報を受信するコード受信手段と、前記受信手段により受信されたコード情報により特定される前記出力情報の価値を示す第1価値情報と、当該出力情報に付加されて出力される付加情報の価値を示す第2価値情報とに基づいて、当該出力情報及び当該付加情報とを有する第3価値情報とを決定する決定手段とを有する。【請求項50】 前記出力情報は複数であり、前記第1価値情報は、前記複数の出力情報に対応していることを特徴とする請求項49に記載の情報提供システム。【請求項51】 前記付加情報は複数であり、前記第2価値情報は、前記複数の付加情報に対応していることを特徴とする請求項49又は50に記載の情報提供システム。【請求項52】 前記決定手段によって決定される前記出力の対面は、前記第1価値情報に対応する金額から、前記第2価値情報に対応する金額を減算して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項49乃至51のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項53】 前記決定手段によって決定される前記出力の対面は、出力を行なうことに対する金額と前記第1価値情報に対応する金額とから、前記第2価値情報に対応する金額を減算して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項49乃至52のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項54】 前記決定手段によって決定された前記出力の対面が0になる場合があることを特徴とする請求項49又は53に記載の情報提供システム。【請求項55】 前記決定手段は、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が0になるように前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項52或いは53に記載の情報提供システム。【請求項56】 前記決定手段は、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が所定額になるように前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項52或いは53に記載の情報提供システム。【請求項57】 前記付加情報は、前記出力情報に付加されて出力された回数を示す風性情報に基づいて、前記出力情報に付加されるか否かが制御されることを特徴とする請求49乃至56のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項58】 前記出力の対面は、出力がカラー出力である場合と出力が白黒出力である場合とは、異なることを特徴とする請求項49乃至57のいずれかに記載の情報提供システム。

【請求項59】 前記情報処理装置は、前記出力情報に前記付加情報を付加するか否かを判定する判定手段を有し、前記決定手段は、前記出力情報に前記付加情報を付加しないと判定された場合、前記第1価値情報に対応する金額と、出力を行なうことに対する金額とに基づいて、前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項49乃至58のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項60】 出力は、白黒出力であることを特徴とする請求項49乃至59のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項61】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項49乃至59のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項62】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項49乃至61のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項63】 前記コード情報は、携帯電話機、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを特徴とする請求項49乃至62のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項64】 出力は、電子写真方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項49乃至63のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項65】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項49乃至63のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項66】 出力は、決済処理機能に伴うことを特徴とする請求項49乃至65のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項67】 出力は、個人認証機能に伴うことを特徴とする請求項49乃至66のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項68】 出力は、裏面の出力が可能な両面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項49乃至67のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項69】 出力は、前記出力の対面の支払のためのコインカウプの存在を前提としていることを特徴とする請求項49乃至68のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項70】 前記情報処理装置は、出力のために前記出力制御装置のステータス情報を監視することを特徴とする請求項49乃至69のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項71】 前記情報処理装置は、前記コード受信手段により受信された前記コード情報により特定される前記出力情報と当該出力情報を前記出力制御装置に送信する情報送信手段を有し、前記コード送信手段により送信された前記コード情報に

より特定される前記出力情報を受信する情報受信手段を有することを特徴とする請求項49乃至70のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項72】 前記情報処理装置は、前記コード受信手段により受信された前記コード情報により特定される前記出力情報と当該出力情報を前記出力制御装置に送信する情報送信手段を有し、前記出力制御装置は、前記コード送信手段により送信された前記コード情報により特定される前記出力情報を受信する情報受信手段を有することを特徴とする請求項49乃至71のいずれかに記載の情報提供システム。【請求項73】 出力すべき出力情報に対する価値を示す第1価値情報を記憶する第1記憶手段と前記出力情報に付加される付加情報に対する価値を示す第2価値情報を記憶する第2記憶手段と、当該出力情報に付加されて出力される付加情報とから情報の読み出しを制御する読み出し制御手段と、当該出力情報に付加される前記付加情報の第1価値情報と、当該出力情報に付加される前記付加情報の第2価値情報とに基づいて、当該出力情報及び当該付加情報とを有する第3価値情報とを決定する決定手段とを有することを特徴とする情報処理方法。【請求項74】 前記出力情報は複数であり、前記第1価値情報は前記複数の出力情報に対応していることを特徴とする請求項73に記載の情報処理方法。【請求項75】 前記付加情報は複数であり、前記第2価値情報は前記複数の付加情報に対応していることを特徴とする請求項73或いは74に記載の情報処理方法。【請求項76】 前記決定手段によって決定される前記出力の対面は、前記第1価値情報に対応する金額から、前記第2価値情報に対応する金額を減算して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項73乃至75のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項77】 前記決定手段によって決定される前記出力の対面は、出力を行なうことに対する金額と前記第1価値情報に対応する金額とから、前記第2価値情報に対応する金額を減算して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項73乃至75のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項78】 前記決定手段によって決定された前記出力の対面が0になる場合があることを特徴とする請求項73乃至77のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項79】 前記決定手段は、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が0になるように前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項76或いは77に記載の情報処理方法。【請求項80】 前記決定手段は、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が所定の値になるように前記出力の対面を決定することを特徴とす

る請求項76或いは77に記載の情報処理方法。【請求項81】 前記付加情報は、前記出力情報に付加されて出力された回数を示す風性情報に基づいて、前記出力情報に付加されるか否かが制御されることを特徴とする請求項73乃至80のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項82】 前記出力の対面は、出力がカラー出力である場合と出力が白黒出力である場合とは、異なることを特徴とする請求項73乃至81のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項83】 前記出力情報に前記付加情報を付加するか否かを判定する判定手段を有し、前記決定手段は、前記出力情報に前記付加情報を付加しないと判定された場合、前記第1価値情報に対応する金額と、出力を行なうことに対する金額とに基づいて、前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項73乃至82のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項84】 出力は、白黒出力であることを特徴とする請求項73乃至83のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項85】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項73乃至84のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項86】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項73乃至85のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項87】 前記出力情報を示すコード情報を入力する入カスレツプを有することを特徴とする請求項73乃至86のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項88】 前記コード情報は、携帯電話機、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを特徴とする請求項73乃至87のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項89】 出力は、電子写真方式のプリンタによって実行されることを特徴とする請求項73乃至88のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項90】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項73乃至88のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項91】 出力は、決済処理機能に伴うことを特徴とする請求項73乃至90のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項92】 出力は、個人認証機能に伴うことを特徴とする請求項73乃至91のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項93】 出力は、裏面の出力が可能な両面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項73乃至92のいずれかに記載の情報処理方法。【請求項94】 出力は、前記出力の対面の支払のためのコインカウプの存在を前提としていることを特徴と

する請求項7乃至9のいずれかに記載の情報処理方法。

【請求項95】 前記出力情報を取得するための外部とのインタフェースの存在が前提であることを特徴とする請求項7乃至94のいずれかに記載の情報処理方法。

【請求項96】 出力のために外部の装置のステータス情報を取得することを特徴とする請求項7乃至95のいずれかに記載の情報処理方法。

【請求項97】 出力情報を特定するためのコード情報を入力するコード入力ステップと、出力情報を出力する際の設定情報を入力する設定入力ステップと、

前記コード入力ステップにより入力された前記コード情報と前記設定入力ステップにより入力された設定情報とを外部装置に送信する送信ステップと、

前記送信ステップにより送信されたコード情報により特定される前記出力情報の値を示す第1値情報と、当該出力情報に付加されて出力される付加情報の値を示す第2値情報とに基づいて前記外部装置により決定される出力の対面を示す対面情報と、前記外部装置から受信する受信ステップとを有することを特徴とする出力制御方法。

【請求項98】 前記出力情報は複数であり、前記第1値情報は、前記複数の出力情報に対応していることを特徴とする請求項97に記載の出力制御方法。

【請求項99】 前記付加情報は複数であり、前記第2値情報は、前記複数の付加情報に対応していることを特徴とする請求項97又は98に記載の出力制御方法。

【請求項100】 決定される前記出力の対面は、前記第1値情報に対応する金額から、前記第2値情報に対応する金額を減算して差し引きされた金額に基づいて、ることを特徴とする請求項97乃至99のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項101】 決定される前記出力の対面は、出力を行うことに対する金額と前記第1値情報に対応する金額とから、前記第2値情報に対応する金額を減算して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項97乃至99のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項102】 決定される前記出力の対面は、0になる場合があることを特徴とする請求項97乃至101のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項103】 前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が0になるように前記出力の対面が決定されることを特徴とする請求項100又は101に記載の出力制御方法。

【請求項104】 前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が所定の値になるように前記出力の対面が決定されることを特徴とする請求項100又は101に記載の出力制御方法。

【請求項105】 前記付加情報は、前記出力情報に付加されて出力された回数か否かが制御されることを特徴とする出力情報に付加されるか否かが制御されることを特徴とする請求項97乃至104のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項106】 前記出力の対面は、出力がカラーである場合と出力が白黒である場合とでは、異なることを特徴とする請求項97乃至105のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項107】 前記コード入力ステップと前記設定ステップとを備える制御部を有していることを特徴とする請求項97乃至106のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項108】 出力は、白黒出力であることを特徴とする請求項97乃至35のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項109】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項97乃至108のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項110】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項97乃至109のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項111】 前記コード情報は、掛算結果等、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを特徴とする請求項97乃至110のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項112】 出力は、電子写真方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項97乃至111のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項113】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項97乃至112のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項114】 出力は、決済処理機能を伴うことを特徴とする請求項97乃至113のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項115】 出力は、個人認証機能を伴うことを特徴とする請求項97乃至114のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項116】 出力は、裏面の出力が可能な両面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項97乃至115のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項117】 出力は、情報出力の対面の支払いのためのコンピュータの存在を前提にしていることを特徴とする請求項97乃至116のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項118】 前記送信ステップにより送信された前記コード情報により特定される出力情報を受信する情報受信ステップを有することを特徴とする請求項97乃至117のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項119】 前記外部装置とはネットワークを介

して接続されていることを特徴とする請求項97乃至118のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項120】 状態を前記外部装置に送信する状態送信ステップを有することを特徴とする請求項97乃至119のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項121】 情報処理装置と出力制御装置とがネットワークを介して接続されている情報提供システムにおける情報提供方法において、

前記出力制御装置は、出力情報を特定するためのコード情報を入力するコード入力ステップと、前記コード入力ステップにより入力された前記コード情報を送信するコード送信ステップとを有し、

前記情報処理装置は、出力すべき出力情報に対する第1値情報を配座する第1記憶ステップと前記出力情報に付加される付加情報に対する値を示す第2値情報を配座する第2記憶ステップとから情報の読み出しを制御する読み出し制御ステップと、

前記情報処理装置は、前記コード情報を受信するコード受信ステップと、前記受信ステップにより受信されたコード情報により特定される前記出力情報の値を示す第1値情報と、当該出力情報に付加されて出力される付加情報の値を示す第2値情報とに基づいて、当該出力情報及び当該付加情報を用いる際の出力の対面を決定する決定ステップとを有することを特徴とする情報提供方法。

【請求項122】 前記出力情報は複数であり、前記第1値情報は、前記複数の出力情報に対応していることを特徴とする請求項121に記載の情報提供方法。

【請求項123】 前記付加情報は複数であり、前記第2値情報は、前記複数の付加情報に対応していることを特徴とする請求項121又は122に記載の情報提供方法。

【請求項124】 前記決定ステップによって決定される前記出力の対面は、前記第1値情報に対応する金額から、前記第2値情報に対応する金額を減算して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項121乃至123のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項125】 前記決定ステップによって決定される前記出力の対面は、出力を行なうことに対する金額と前記第1値情報に対応する金額とから、前記第2値情報に対応する金額を減算して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項121乃至124のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項126】 前記決定ステップによって決定された前記出力の対面が0になる場合があることを特徴とする請求項121又は125に記載の情報提供方法。

【請求項127】 前記決定ステップは、前記差し引き

された金額が負になった場合、前記出力の対面が0になるように前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項124又は125に記載の情報提供方法。

【請求項128】 前記決定ステップは、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が所定額になるように前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項124又は125に記載の情報提供方法。

【請求項129】 前記付加情報は、前記出力情報に付加されて出力された回数か否かが制御されることを特徴とする請求項121乃至128のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項130】 前記出力の対面は、出力がカラー力である場合と出力が白黒出力である場合とでは、異なることを特徴とする請求項121乃至129のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項131】 前記情報処理装置は、前記出力情報に前記付加情報を付加するか否かを判定する判定ステップを有し、

前記決定ステップは、前記出力情報に前記付加情報を付加しないか判定された場合、前記第1値情報に対応する金額と、出力を行なうことに対する金額とに基づいて、前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項121乃至130のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項132】 出力は、白黒出力であることを特徴とする請求項121乃至131のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項133】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項121乃至132のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項134】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項121乃至133のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項135】 前記コード情報は、掛算結果等、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを特徴とする請求項121乃至134のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項136】 出力は、電子写真方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項121乃至135のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項137】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項121乃至136のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項138】 出力は、決済処理機能を伴うことを特徴とする請求項121乃至137のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項139】 出力は、個人認証機能を伴うことを特徴とする請求項121乃至138のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項140】 前記決定ステップは、前記決定ステップによって決定された前記出力の対面が0になる場合があることを特徴とする請求項121乃至139のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項141】 前記決定ステップは、前記決定ステップによって決定された前記出力の対面が所定の値になるように前記出力の対面が決定されることを特徴とする請求項121乃至140のいずれかに記載の出力制御方法。

【請求項140】 出力は、裏面の出力が可能な画面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項12乃至139のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項141】 出力は、前記出力の対面の支払のためのコンカウツクスの存在を前提としていることを特徴とする請求項12乃至140のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項142】 前記情報処理装置は、出力のために前記出力制御装置のステータス情報を照査することと特徴とする請求項12乃至141のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項143】 前記情報処理装置は、前記コード受信ステツツにより受信された前記コード情報により特定される前記出力情報と当該出力情報を前記出力制御装置に送信する情報送信ステツツを有し、前記出力制御装置は、

前記コード送信ステツツにより送信された前記コード情報により特定される前記出力情報を受信する情報受信ステツツを有することを特徴とする請求項12乃至142のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項144】 前記情報処理装置は、前記コード受信ステツツにより受信された前記コード情報により特定される前記出力情報と当該出力情報を前記出力制御装置に送信する情報送信ステツツを有し、前記出力制御装置は、

前記コード送信ステツツにより送信された前記コード情報により特定される前記出力情報を受信する情報受信ステツツを有することを特徴とする請求項12乃至143のいずれかに記載の情報提供方法。

【請求項145】 情報処理プログラムが格納されたコンピュータにより読取可能な記録媒体であって、当該情報処理プログラムは、

出力すべき出力情報に対する面値を示す第1面値情報を記憶する第1記憶ステツツと前記出力情報に付加される付加情報に対する面値を示す第2面値情報を記憶する第2記憶ステツツとから情報の読み出しを制御する読み出し制御ステツツと、

前記出力情報の第1面値情報と、当該出力情報に付加される前記付加情報の第2面値情報とに基づいて、当該出力情報及び当該付加情報と出力する際の出力の対面を決定する決定ステツツとを有することを特徴とする記録媒体。

【請求項146】 前記出力情報は投数であり、前記第1面値情報は前記投数の出力情報に対応していることを特徴とする請求項145に記載の記録媒体。

【請求項147】 前記付加情報は投数であり、前記第2面値情報は前記投数の付加情報に対応していることを特徴とする請求項145或いは146に記載の記録媒体。

【請求項148】 前記決定ステツツによって決定され

る前記出力の対面は、前記第1面値情報に対する金額から、前記第2面値情報に対する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項145乃至147のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項149】 前記決定ステツツによって決定される前記出力の対面は、出力を行なうことに対する金額と前記第1面値情報に対する金額とから、前記第2面値情報に対する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項145乃至147のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項150】 前記決定ステツツによって決定された前記出力の対面が0になる場合があることを特徴とする請求項145乃至149のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項151】 前記決定ステツツは、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が0になるように前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項148或いは149に記載の記録媒体。

【請求項152】 前記決定ステツツは、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が所定の値になるように前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項148或いは149に記載の記録媒体。

【請求項153】 前記付加情報は、前記出力情報に付加されて出力された回数を示す属性情報に基づいて、前記出力情報に付加されるか否かが制御されることを特徴とする請求項145乃至152のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項154】 前記出力の対面は、出力がカラー出力である場合と出力が白黒出力である場合とでは、異なることを特徴とする請求項145乃至153のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項155】 前記出力情報に前記付加情報を付加するか否かを判定する判定ステツツを有し、

前記決定ステツツは、前記出力情報に前記付加情報を付加しないと判定された場合、前記第1面値情報に対する金額と、出力を行なうことに対する金額とに基づいて、前記出力の対面を決定することを特徴とする請求項145乃至154のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項156】 出力は、白黒出力であることを特徴とする請求項145乃至155のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項157】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項145乃至156のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項158】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項145乃至157のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項159】 前記情報処理プログラムは、前記出力情報を示すコード情報を入力する入力ステツツを有することを特徴とする請求項145乃至158のい

ずれかに記載の記録媒体。

【請求項160】 前記コード情報は、携帯電話等、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを特徴とする請求項145乃至159のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項161】 出力は、電子写真方式のプリンタ部によって遂行されることを特徴とする請求項145乃至160のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項162】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって遂行されることを特徴とする請求項145乃至160のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項163】 出力は、決済処理機能を伴うことを特徴とする請求項145乃至162のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項164】 出力は、個人認証機能を伴うことを特徴とする請求項145乃至163のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項165】 出力は、裏面の出力が可能な画面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項145乃至164のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項166】 出力は、前記出力の対面の支払のためのコンカウツクの存在を前提としていることを特徴とする請求項145乃至165のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項167】 前記出力情報を取得するための外部とのインタフェースの存在が前提であることを特徴とする請求項145乃至166のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項168】 出力のために外部の装置のステータス情報を照査することと特徴とする請求項145乃至167のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項169】 出力制御プログラムが格納されたコンピュータにより読取可能な記録媒体であって、前記出力情報を特定するためのコード情報を入力するコード入力ステツツと、

出力情報を出力する際の設定情報を入力する設定入力ステツツと、前記入力ステツツにより入力された前記コード情報と前記設定入力ステツツにより入力された設定情報とを外部装置に送信する送信ステツツと、前記送信ステツツにより送信されたコード情報により特定される前記出力情報の面値を示す第1面値情報と、当該出力情報に付加されて出力される付加情報の面値を示す第2面値情報とに基づいて前記外部装置により決定される出力の対面を示す対面情報を、前記外部装置から受信する受信ステツツとを有することを特徴とする記録媒体。

【請求項170】 前記出力情報は投数であり、前記第1面値情報は、前記投数の出力情報に対応してい

ることを特徴とする請求項169に記載の記録媒体。

【請求項171】 前記付加情報は投数であり、前記第2面値情報は、前記投数の付加情報に対応していることを特徴とする請求項169或いは170に記載の記録媒体。

【請求項172】 決定される前記出力の対面は、前記第1面値情報に対する金額から、前記第2面値情報に対応する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項169乃至171のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項173】 決定される前記出力の対面は、出力を行うことに対する金額と前記第1面値情報に対する金額とから、前記第2面値情報に対する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項169乃至171のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項174】 決定される前記出力の対面は、0になる場合があることを特徴とする請求項169乃至173のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項175】 前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が0になるように前記出力の対面が決定されることを特徴とする請求項172或いは173に記載の記録媒体。

【請求項176】 前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対面が所定の値になるように前記出力の対面が決定されることを特徴とする請求項172或いは173に記載の記録媒体。

【請求項177】 前記付加情報は、前記出力情報に付加されて出力された回数を示す属性情報に基づいて、前記出力情報に付加されるか否かが制御されることを特徴とする請求項169乃至176のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項178】 前記出力の対面は、出力がカラーである場合と出力が白黒である場合とでは、異なることを特徴とする請求項169乃至177のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項179】 前記出力制御プログラムは、前記コード入力ステツツと前記決定ステツツとを備える操作処理を有していることを特徴とする請求項169乃至178のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項180】 出力は、白黒出力であることを特徴とする請求項169乃至179のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項181】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項169乃至180のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項182】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項169乃至181のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項183】 前記コード情報は、携帯電話等、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを

特徴とする請求項169乃至182のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項184】 出力は、電子写真方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項169乃至183のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項185】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項169乃至183のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項186】 出力は、決済処理機能を伴うことを特徴とする請求項169乃至185のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項187】 出力は、個人認証機能を伴うことを特徴とする請求項169乃至186のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項188】 出力は、裏面の出力が可能な両面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項169乃至187のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項189】 出力は、情報出力の対価の支払いのためのコインカウンスの存在を前提にしていることを特徴とする請求項169乃至188のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項190】 前記出力制御プログラムは、前記送信ステップにより送信された前記コード情報により特定される出力情報を受信する情報受信ステップを有することを特徴とする請求項169乃至189のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項191】 前記外部装置とはネットワークを介して接続されていることを特徴とする請求項169乃至190のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項192】 前記出力制御プログラムは、状態を前記外部装置に送信する状態送信ステップを有することを特徴とする請求項169乃至191のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項193】 情報処理装置と出力制御装置とがネットワークを介して接続されている情報提供システムにおけるプログラムが格納されたコンピュータにより取扱可能な記録媒体であって、前記出力制御装置におけるプログラムは、出力情報を特定するためのコード情報を入力するコード入力ステップと、前記コード入力ステップにより入力された前記コード情報を送信するコード送信ステップとを有し、前記情報処理装置におけるプログラムは、出力すべき出力情報に対する第1面画情報と第1面画情報とを前記出力情報に付加される付加情報に対する第2面画情報とを前記出力情報に付加される付加情報とから情報の読み出しを制御する読み出し制御ステップと、前記情報処理装置は、前記コード情報を受信するコード受信ステップと、

前記受信ステップにより受信されたコード情報により特定される前記出力情報の画値を示す第1面画情報と、当該出力情報に付加されて出力される付加情報の画値を示す第2面画情報とに基づいて、当該出力情報及び当該付加情報とを出力する際の出力の対価を決定する決定ステップとを有することを特徴とする記録媒体。

【請求項194】 前記出力情報は複数であり、前記第1面画情報は、前記複数の出力情報に対応していることを特徴とする請求項193に記載の記録媒体。

【請求項195】 前記付加情報は複数であり、前記第2面画情報は、前記複数の付加情報に対応していることを特徴とする請求項193或いは194に記載の記録媒体。

【請求項196】 前記決定ステップによって決定される前記出力の対価は、前記第1面画情報に対応する金額から、前記第2面画情報に対応する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項193乃至195のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項197】 前記決定ステップによって決定される前記出力の対価は、出力を行なうことに対する金額と前記第1面画情報に対応する金額とから、前記第2面画情報に対応する金額を減額して差し引きされた金額に基づいていることを特徴とする請求項193乃至195のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項198】 前記決定ステップによって決定された前記出力の対価が0になる場合があることを特徴とする請求項193或いは197に記載の記録媒体。

【請求項199】 前記決定ステップは、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対価が0になるように前記出力の対価を決定することを特徴とする請求項196或いは197に記載の記録媒体。

【請求項200】 前記決定ステップは、前記差し引きされた金額が負になった場合、前記出力の対価が所定額になるように前記出力の対価を決定することを特徴とする請求項196或いは197に記載の記録媒体。

【請求項201】 前記付加情報は、前記出力情報に付加されて出力された回数を示す属性情報に基づいて、前記出力情報に付加されるか否かが制御されることを特徴とする請求項193乃至200のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項202】 前記出力の対価は、出力がカラー出力である場合と出力が白黒出力である場合とでは、異なることを特徴とする請求項193乃至201のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項203】 前記情報処理装置におけるプログラムは、前記出力情報に前記付加情報を付加するか否かを判定する判定ステップを有し、前記決定ステップは、前記出力情報に前記付加情報を付加しないか判定された場合、前記第1面画情報に対応する金額と、出力を行なうことに対する金額とに基づいて、前記出力の対価を決定することを特徴とする請求項193乃至202のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項204】 出力は、白黒出力であることを特徴とする請求項193乃至203のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項205】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項193乃至203のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項206】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項193乃至205のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項207】 前記コード情報は、携帯電話、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを特徴とする請求項193乃至206のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項208】 出力は、電子写真方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項193乃至207のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項209】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項193乃至207のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項210】 出力は、決済処理機能を伴うことを特徴とする請求項193乃至209のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項211】 出力は、個人認証機能を伴うことを特徴とする請求項193乃至210のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項212】 出力は、裏面の出力が可能な両面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項193乃至211のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項213】 出力は、前記出力の対価の支払いのためのコインカウンスの存在を前提にしていることを特徴とする請求項193乃至212のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項214】 前記情報処理装置は、出力のために前記出力制御装置のステータス情報を照査することとを特徴とする請求項193乃至213のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項215】 前記情報処理装置におけるプログラムは、前記コード受信ステップにより受信された前記コード情報により特定される前記出力情報と当該出力情報を前記出力制御装置に送信する情報送信ステップを有し、前記出力制御装置におけるプログラムは、前記コード送信ステップにより送信された前記コード情報により特定される前記出力情報を受信する情報受信ステップを有することを特徴とする請求項193乃至214のいずれかに記載の記録媒体。

る金額と、出力を行なうことに対する金額とに基づいて、前記出力の対価を決定することを特徴とする請求項193乃至202のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項204】 出力は、白黒出力であることを特徴とする請求項193乃至203のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項205】 出力は、カラー出力であることを特徴とする請求項193乃至203のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項206】 前記付加情報は、前記出力情報に付加される広告の情報であることを特徴とする請求項193乃至205のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項207】 前記コード情報は、携帯電話、コンピュータ以外から得られる情報に基づいていることを特徴とする請求項193乃至206のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項208】 出力は、電子写真方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項193乃至207のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項209】 出力は、インクジェット方式のプリンタ部によって実行されることを特徴とする請求項193乃至207のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項210】 出力は、決済処理機能を伴うことを特徴とする請求項193乃至209のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項211】 出力は、個人認証機能を伴うことを特徴とする請求項193乃至210のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項212】 出力は、裏面の出力が可能な両面ユニットの存在を前提にしていることを特徴とする請求項193乃至211のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項213】 出力は、前記出力の対価の支払いのためのコインカウンスの存在を前提にしていることを特徴とする請求項193乃至212のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項214】 前記情報処理装置は、出力のために前記出力制御装置のステータス情報を照査することとを特徴とする請求項193乃至213のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項215】 前記情報処理装置におけるプログラムは、前記コード受信ステップにより受信された前記コード情報により特定される前記出力情報と当該出力情報を前記出力制御装置に送信する情報送信ステップを有し、前記出力制御装置におけるプログラムは、前記コード送信ステップにより送信された前記コード情報により特定される前記出力情報を受信する情報受信ステップを有することを特徴とする請求項193乃至214のいずれかに記載の記録媒体。

△は、前記コード受信ステップにより受信された前記コード情報により特定される前記出力情報と当該出力情報を前記出力制御装置に送信する情報送信ステップを有し、前記出力制御装置におけるプログラムは、前記コード送信ステップにより送信された前記コード情報により特定される前記出力情報を受信する情報受信ステップを有することを特徴とする請求項193乃至215のいずれかに記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、情報を提供する側及び情報を得る側とによって、適宜の行くレベルで、適切なレイアウトで、情報を提供及び取得することのできる情報処理方法及び出力制御方法及び装置及びシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来から、各種の情報を提供するサービスが考えられている。情報のサービスの形態として、例えば、1：インターネットWeb、2：インターネットブrows型ニュース配信サービス、3：FAX情報取り出しサービス、4：新聞雑誌送付型資料請求サービス、5：フリーダイヤル問い合わせ、6：資料請求はがき送付等が知られている。しかし、それぞれには一長一短があり、より多くの人に情報を提供するよりよいサービスが望まれていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 一方、携帯電話等の携帯型情報端末の普及により、文字情報や画像情報による情報提供サービスが盛んになってきた。しかし、携帯電話の表示能力は、サイズ、色、解像度などで制限がある。そのため、これを補完する形で、上記のサービスが利用されることが考えられる。

【0004】 しかし、上記列举した従来型の情報提供サービスでは、それぞれ制約事項がある。1と2では、サービスを受けるユーザが、インターネット環境に接続したPCユーザあるいは固定ユーザのみに限定される。それだけでなく、ユーザは、取得したい情報へアクセスするために必要なURL(Uniform Resource Locator)を見つけて出すに手間がかかってしまう。

【0005】 3は、ユーザがFAX利用者にしぼられるだけでなく、個人が所有するファックスのプリント能力(モノクロ、プリントレビユー)にも制約がある。また、出カコスト(電話代、紙代など)も利用者負担になる。

【0006】 4と6では、不特定多数の利用者が利用可能である。しかし、利用者が情報入手できるのは、サービスを要求してから数時間あるいは数日後である。さらに、情報提供者側は、情報を提供するための物理的な処理体制を用意する必要があり、情報提供コストがかか

つてしまう。

【0007】また、5では、電話での音楽による情報提供である。音楽でのやり取りの後、資料等を請求できたとしても4、6と同様に、情報提供されるのに数時間或いは数日の時間が必要である。更に、情報提供者側も自動応答プログラムやオペレータ等、物理的な処理体制を用意する必要があった。

【0008】そこで、よりよい情報提供サービスを行なうために、配号及び数字で表されるコード体系（以下、仮にPコード（体系）と記載する）で特定の情報を出力するシステムが考えられる。そして、このシステムにより、誰かが、好きな場所、好きな時に詳細な情報を高品位に出力できるようにしたいという要望が考えられる。

【0009】ただし、全ての情報をユーザ入力のコードにすると、コードの数が膨大になる。コードの桁数が増えると入力が多くなる。

【0010】また、上記の問題点が解決されたとしても、種々の問題が存在する。例えば、費用の問題がある。例えばカラーでプリントしようとすると、まだまだ高価である。インターネットの世界では、情報提供者の情報に広告提供者の広告を載せることで、情報が無償で提供されるサービスが考えられている。が、一般のユーザ等では出力する場合、印刷処理が有償である。そのため、一般ユーザはほとんど印刷して情報を取得することに抵抗があった。

【0011】一方、広告提供者の立場からすると、新聞の折り込み広告のようなランダムに掲載される広告が、広告のヒット率（広告を見てやってくる客の比率）が低い。また、印刷を行ったユーザの立場からすると、ランダムに掲載される広告は自分の興味に関係のない広告であることが多く、単に邪魔である場合が多い。これらの問題を解決しないと、そのまま紙の無駄につながる。

【0012】また、ユーザが出力したい情報には、種々のサービス、種々のレイアウトの情報がある。従って、広告をいろいろの場合、紙面上でわずかにデータが溢れ、広告のために余計に1枚印刷される恐れがある。一方、データを無条件に随分と印刷すると、データの大きさによっては随分と大きすぎて印刷結果が見えなくなる恐れがある。すると結局、広告提供、ユーザにとって魅力的なサービスとなってしまう。

【0013】広告を出力するかもしれないか等をその都度ユーザが自由に選択できるようにしたとしても、個々の広告を印刷する場合、特に、コンビニエンスストア等の店頭で印刷がある。ユーザがパネルで印刷作業を行う場合、パネル操作に長時間を費やしてしまい、そのユーザ一人が端末を占有してしまう恐れがある。また、店員が、パネル操作がわからない等の苦情に対応する必要も

あり、サービスを効率よく提供できないという欠点も考えられる。

【0014】また、広告提供者がある枚数以上の出力を期待して、広告枚数と金額とが固定された契約を決めた場合、印刷された広告枚数が予想に反して少なく、金額分の広告枚数が印刷されないことがある。すると、広告提供者にとっては満足が行く結果にはならず、問題がある。

【0015】また、情報と広告を同時に掲載して印刷する場合、両方を同じ面に印刷しようとすると大きい広告を載せるのが難しい。また、複数の情報と広告を同時に同じ面に載せるには、自動レイアウトで複雑な処理が必要になる。

【0016】所望の情報をあらかじめ登録しておいて、後で出力する場合が考えられるが、ネット上に情報を登録するような場合、登録すべきファイルを選択したときに、選択したファイルが正しいかどうかを判断するためのレビューはできるだけ早く確認したい。それに対して、正確なレビューは全ての情報を登録しおわった状態でないと確認できない。

【0017】コードから情報を引き出すようなシステムの場合、通常、情報の有効期限がきれるとその場でコードがリサイクルされる。情報の有効期限が切れても、ユーザがそれに気付かずにはその情報のコードから情報へのアクセスが試みることがある。その時に、コードがリサイクルされて他の情報に結びついていいると、ユーザ及び情報提供者にとっては不愉快な情報が出てくる場合がある。（例えば競合他社の情報が出てくる場合など）また、広告提供者にとっても、情報の種類に関係なく、無条件に広告を出してもヒット率が悪い。

【0018】また、インターネットの普及と携帯端末の普及によって携帯端末からメールを送ったり、インターネット上の情報にアクセスできるようにになったが、それらの情報を携帯端末で全て、見るには無理がある。例えば、長いメールは途中で切れたり、画像付きの情報は画面情報にアクセスできないかったりする。それらの情報にアクセスするためにPCを常に持ち歩くわけにはいかなない。従って、誰でも利用できる場所、好きな時に詳細な情報を得ることができればいいという要望が考えられる。

【0019】出力を使用者の満足の行くレベルで、かつ、できるだけ安く提供が必要があるが、印刷枚数、印刷された有償情報の値段、そこから割り引かれる広告料金を元に可変の印刷料金を出すことは容易ではない。

【0020】一方、新聞では多くの情報が載せられているが、ユーザが必要とする情報がその全てであることは少ない。個々人で毎日必ず欲しい情報が幾つかあっても、PCからの検索では面倒で時間と手間がかかる。幾つかの情報をパソコンにして提供するサービスはあるが、そ

のサービスで提供される情報の組み合わせをユーザが任意に選べるわけではない。

【0021】従来、情報の提供は一般的には特定のIP（インターネットプロトコル）が行っている物で、一般ユーザは情報取得用端末から情報を引き出すだけである。また、PC所有者はhome Pageの問題によって情報の発信を行うことができるが、htmlでの記述など全ての人が簡単にできる物ではなかった。

【0022】また、例えば食中毒の記事が載っているとこに、食料品や飲食店の広告を同時掲載するのは好ましく思われないことがある。情報内の文字列を検索してそれとマッチする内容の広告を掲載するだけでは、情報内容によっては逆効果になるが、それを防ぐ手段はない。上記各組の問題およびそれらの組み合わせの問題を解決するサービスが望まれている。

【0023】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明は、出力すべき出力情報に対する面値を示す第1面値情報と、前記出力情報に付加される付加情報に対する面値を示す第2面値情報と、当該出力情報に付加される前記付加情報の第1面値情報と、当該出力情報に付加される前記付加情報の第2面値情報とに基づいて、当該出力情報及び当該付加情報を出力する際の出力の対面を決定する、情報処理装置及び情報処理方法及び情報処理プログラムを提供することを目的とする。

【0024】また、上記課題を解決するために、本発明は、出力情報を特定するためのコード情報を入力し、出力情報を読み出す際の面値情報を入力し、入力された前記コード情報と設定情報とを外部装置に送信し、送信されたコード情報により特定される前記出力情報の面値を示す第1面値情報と、当該出力情報に付加されて出力される付加情報の面値を示す第2面値情報とに基づいて前記外部装置により決定される出力の対面を示す対面情報を前記外部装置から受信する、出力制御装置及び出力制御方法及び出力制御プログラムを提供することを目的とする。

【0025】また、上記課題を解決するために、本発明は、情報処理装置と出力制御装置とがネットワークを介して接続されている情報提供システムにおいて、前記出力制御装置は、出力情報を特定するためのコード情報を入力し、前記コード入力手段により入力された前記コード情報を送信し、前記情報処理装置は、出力すべき出力情報に対する第1面値情報と前記出力情報に付加される付加情報に対する第2面値情報とを示す第2面値情報とを配役手段から読み出し、前記コード情報を受信し、受信されたコード情報により特定される前記出力情報の面値を示す第1面値情報と、当該出力情報に付加されて出力される付加情報の面値を示す第2面値情報とに基づいて、当該出力情報及び当該付加情報を出力する際の出力の対面を決定するような、情報提供システム及び情報提供方法及び

情報提供プログラムを提供することを目的とする。

【0026】

【発明の実施の形態】【第1の実施形態】図1は、本発明の情報提供方法及び装置及びシステムの実施例を説明するための図である。本実施例において、1001は、提供される情報の管理及びPコードの発番の管理及び出力レイアウトの制御等を行うデータベース及び管理部である。ここでは、仮にCandinet制御部と呼ぶことにする。【0027】1011は、駅の売店コーナやコンビニエンスストア等、不特定多数のユーザが利用できる場所に設置され、情報の入出力及びPコードの入力等が行われる装置である。ここでは、仮に、キオスク端末と呼ぶことにする。

【0028】このキオスク端末は、Pコードを入力するためのUI或いはコード入力装置（Pコード入力装置111）、この端末から情報を登録（入力）するための情報入力装置112、情報を、例えば、カラーで高品位に高品位にプリントアウトすることができ、Pコード情報出力装置113と、ユーザが料金を投入するための決済処理機能装置114や個人ユーザ認証機能装置115などの決済や認証などを行うための装置から構成されている。

【0029】1201は、ユーザが情報出力に必要なPコードを得るための手段となる携帯端末装置である。コンピュータを持つていない人でもこれを利用することにより、入手したい情報を見つけることが可能であり、見つけた情報に対応するPコードをキオスク端末110に入力して所望の高品位の出力を得ることができ。

【0030】1301は、情報提供者／P（Information Provider）であり、各種情報を提供するためのデータベースを成すところである。これは、通常のインターネットのホームページで見かけられる広告を扱う業者と読者の予想などの付加面価値情報を提供する業者の2種類に別れる。これらの業者が、提供する情報に係るデータを、inet制御部1001に登録しておくことにより、提供した情報に対してPコードが割り振られる。そして、ユーザが情報端末装置で情報を検索し、その情報に対応したPコードをキオスク端末110に入力することにより、その情報の出力（印刷）することができ。

【0031】この際、場合によっては、出力された情報にともな、スペース部分や用紙の裏面に広告が印刷される。ユーザが支払うべき印刷代が軽減される。

【0032】1211は、情報提供端末120以外の情報メディアであり、インターネットや新聞誌等で、Pコードが通知されることにより、Pコードを入手した人がコンビニエンスストアに行き、そのPコードをキオスク端末110に入力することにより、情報を簡単に出力（印刷）することができ。

【0033】115は、ユーザがPコードを入力してある特定の情報を出力することを許可されているか否かの

個人認証を行う。114は、ユーザが情報を出した際の個人認証を行うための装置である。これは、コンビニエンスストア等の店頭のPOSシステム140と連動しているも良い。

【0034】以上のシステムに基づく、情報提供サービスの内容には、例えば、次の4種類がある。

【0035】1. 情報サービス：これは、本システムの基本的なサービスである。既に説明したように、ユーザはPコードを端末120や他の情報メディア121から取得して、そのPコードが提供する情報を印刷することにより、P130が提供する情報を印刷することができるようにしたサービスである。情報出力のための料金は、広告の有無、裏面印刷、カラー/白黒印刷等により可変である。

【0036】2. メールプリントサービス：これは、例えば情報携帯端末に送付された電子メールの内容を印刷して読みたい場合、または、携帯端末を持たないユーザが電子メールを外出先で読みたい場合に、その要望に答えるべく、ユーザの電子メールの内容（メールアドレス）をPコードを入力して印刷することができるシステムである。これも、広告の有無、裏面印刷、カラー/白黒印刷等により、料金可変である。

【0037】3. パーソナル情報サービス：これは、ユーザが個々の情報を個別のPコードによって取得できるだけでなく、好みの情報を選択・収集して、それらの情報が統合されたものをユーザ固有のPコードによって取得できるサービスである。例えば、野球のある特定のチームの記事のみが集められたものを毎朝、コンビニで出力する、といった「ワイドスポーツ新聞」などがこのサービスに該当する。ユーザがこのサービスを受けるためには、個人会員となってユーザ固有のPコード（パーソナルPコードという）を発行してもらう必要がある。そして、このPコードを入力する際には、パスワード等を個人認証機能装置115に入力する必要がある。これも、広告の有無、裏面印刷、カラー/白黒印刷等により、料金可変である。

【0038】4. データ配信サービス：これは、例えば、100円バーに車を預けるように、情報（データを）一時的に預け、後に引き出すことができるサービスである。情報を預ける方法には、例えば、キオスク端末110の情報入力装置112（スキャナなど）により情報を入力して預けておく場合（ケースA）と、インターネットを介して所望の情報（データ）をCandinet制御部100に伝送して預けておく場合（ケースB）とがある。

【0039】すると、情報を入力した際に（ケースA）、あるいは、情報を伝送した際に（ケースB）、パーソナルPコードが発行され、そのパーソナルPコードをキオスク端末110に入力することにより、好きな場

印刷、カラー/白黒印刷等により、料金可変である。

【0040】図2は、本発明の実施の形態を示すキオスク端末110とCandinet制御部100の制御構成を示すブロック図である。なお、本発明の機能が実行されるのであれば、それそれは単体の機器であってもよい、複数の機器からなるシステムであってもよい。つまり、キオスク端末110とCandinet制御部100が1つの機器で構成される場合があってもよい。また、キオスク端末110とCandinet制御部100とが、光ケーブル、公衆回線等により接続されたLAN、WAN等のネットワークを介して接続されているシステムであってもよい。更に、システムにおいて、Candinet制御部100が各地域ごと或いは国毎、複数存在してもよいことは言うまでもない。本実施形態では、このタイプになっている。図2では、更に情報提供者130が、公衆回線等でキオスク端末100とCandinet制御部100等に接続されている。

【0041】<Candinet制御部100>同図において、CPU201は、ROM203内のプログラム（後述のフローチャートに示されるプログラム）用ROM、或いは、大容量の外部メモリ211に記憶されたプログラム等に応じた、図形、イメージ、文字、数値等が適宜に文書処理を実行し、更に、外部メモリ211に格納されているデータベースの管理を実行する。そして、Candinet制御部100は、文書処理され、レイアウトされて生成された情報や広告情報等のデータを、圧縮し或いはスクリーン形式のデータに変換し、情報出力プロトコルに従ってキオスク端末110に伝送する。

【0042】また、Candinet制御部100は、外部の情報提供者130からの情報や圧縮データやスクリーン形式のデータである場合、圧縮データを解凍して或いはスクリーン形式のデータに変換し、圧縮し或いはスクリーン形式のデータに変換し、情報出力プロトコルに従ってキオスク端末110に伝送する。

【0043】CPU201は、システムバス204に接続される各デバイスを経路的に制御する。また、このROM203内のプログラム用ROMあるいは外部メモリ211には、CPU101の制御プログラムであるオペレーティングシステムプログラム（以下OS）等が記憶されている。ROM203内のフロッピーROMあるいは外部メモリ211には上記文書処理等を行う際に使用される各種データが記憶されている。RAM202は、CPU201の主メモリ、ワーキングメモリ等として機能する。

【0044】キーボードコントローラ（RBC）205は、キーボード209や不図示のポインティングデバイスからのキー入力を制御する。CRTコントローラ（CRTC）206は、CRTディスプレイ（CRT）210の表示を制御する。これらには必要に応じて管理者が使

用するものである。本発明には直接関係があるものではない。ディスプレイコントローラ（DKC）207は、グラフィック、各種のアプリケーション、フロッピーディスク、ユーザファイル、編集ファイル、プリント制御コマンド生成プログラム（以下プリントドライバ）等を記憶するハードディスク（HD）やフロッピーディスク（FDD）等の外部メモリ211へのアクセスを制御する。インターフェースコントローラ208は、ネットワークを介して、キオスク端末110に接続され、ネットワークでの通信制御処理を実行する。

【0045】なお、CPU201は、例えばRAM202内の表示情報用RAMへのグラフィックデータの展開（ラスライズ）処理を実行することにより、CRT210上でのWYSIWYG（What You See Is What You Get）を可能としている。また、CPU201は、CRT210上の不図示のガラスカーネル等でユーザが指示したコマンドに基づいて、登録された種々のアイコンを開き、種々のデータ処理を実行する。ユーザが印刷を指示すると、印刷の設定に関するアイコンが開く。このアイコンにおいて、ユーザは、プリントの設定や印刷モードの選択などのプリントドライバに対する印刷処理方法の設定を行える。

【0046】キオスク端末110の情報出力装置250においては、プリントCPU212が、ROM213内のプログラム用ROMに記憶された制御プログラム或いは外部メモリ214に記憶された制御プログラムに基づいて、システムバス215に接続される印刷部（プリンタエンジン）217に出力情報としての画像信号を出力する。また、このROM213内のプログラムROMの制御部100は、後述のフローチャートに示されるCPU212の制御プログラム等が記憶されている。ROM213内のフロッピーROMには、上記出力情報を生成する際に使用されるフロッピーデータ等が記憶されている。

【0047】情報入力部218は、イメージスキャナ部（スキャナ部と省略する）やインターフェースから構成されており、ネットワークや公衆回線などを介して、Candinet制御部100と接続されている。スキャナ部では、原稿を読み取ってデジタル信号処理を行い、原稿の画像情報を生成する。前述のデータ配信サービスにおいて、情報を店頭端末から一時的に預ける場合に利用される。

【0048】CPU212はインターフェースを介して、Candinet制御部100との通信処理が可能となっており、プリント内の情報等をCandinet制御部100に通知可能に構成されている。RAM219は、CPU212の主メモリ、ワーキングメモリとして機能するRAMで、図示しない増設ポートに接続されるオプショナルメモリ容量を拡張することができるように構成されている。なお、RAM219は、出力情報展開領域、環境データ格納領域、NVRAM等に用いられる。

前述したハードディスク（HD）、ICカード等の外部メモリ214は、メモリコントローラ（MC）220によりアクセスが制御されている。外部メモリ214は、オプショナルとして接続され、フロッピーデータ、エミュレーションプログラム、フォーマットデータ等を記憶する。

【0049】また、操作部251には、後述の各種表示画面を表示するための表示部とその画面上のタッチパネル及び/或いは別の位置に設けられる操作のためのスイッチ（ボタン）が配されている。

【0050】また、前述した外部メモリ214は1個に限らず、少なくとも1個以上備えられ、内蔵フロッピーに加えてオプショナルカード、言語系異なるプリント制御言語を解釈するプログラムが格納された外部メモリを複数接続できるように構成されている。更に、外部メモリ214は、図示しないNVRAMを有し、操作部251から入力されたプリントモード設定情報を記憶するようにしてもよい。

【0051】<プリントの構成>図3は、キオスク端末110の情報出力装置250の情報出力部（プリント）の一例で、スキャナ付きの両面印刷機能を有するカラー出力部の断面図である。付図示ではあるが、図1及び図2で説明した情報入力装置218を有していることは言うまでもない。

【0052】このプリントはホストコンピュータより入力した印刷データに基づいて得られる各色毎の画像データで渡されたレーザー光をボリオンミラー31により感光ドラム55を走査して静電潜像を形成する。そして、この静電潜像をトナー現像して可視画像を併、これを中間転写体49へ全色について多重転写してカラー可視画像を形成する。そして更に、このカラー可視画像を転写材42へ転写し、転写材42上にカラー可視画像を定着させる。以上の制御を行う画像形成部は、感光ドラム55を有するドラムユニット、接触帯電ローラ57を有する一次帯電部、クレーニング部、現像部、中間転写9、用紙カセット41や各種ローラ43、44、45、47を含む給紙部、転写ローラ50を含む転写部及び定着部255によって構成されている。

【0053】ドラムユニット53は、感光ドラム（感光体）55と感光ドラム55のホルダを兼ねたクレーニング機構を有するクレーン容器54とを一体に構成したものである。このドラムユニット53はプリント本体に対して着脱自在に支持され、感光ドラム55の寿命に合せて容易にユニット交換可能に構成されている。上記感光ドラム55はアルミニウムシリンダの外周に有機光導電体を塗布して構成し、クレーン容器54に回転可能に支持されている。感光ドラム55は、図示しない駆動モータの駆動力が伝達されて回転するもので、駆動モータは感光ドラム55を画像形成動作に依りて反時計回り方向に回転させる。感光ドラム55への露光は、スキャナ部30から送られるレーザー光を感光ドラム55の表面を選択

的に感光させることにより静電潜像が形成されるように構成されている。スキャナ部30では、読取されたレーザ光が、モータ31により画像倍号の水平同期信号を同期して回転するポリゴニミラーにより反射し、レンズ32、反折鏡33を介して感光ドラムを照射する。

【0054】現像部は、上記静電潜像を可視画像化するために、イエロー(Y)、マゼンダ(M)、シアン

(C)の現像を行う3個のカラー現像器20Y、20M、20Cと、フランク(B)の現像を行う1個のフランク現像器21Bとを備えた構成を有する。カラー現像器20Y、20M、20C及びフランク現像器21Bには、スリーフ20YS、20MS、20CS及び21BSと、これらスリーフ20YS、20MS、20CS、20BSそれぞれの外周に圧接する塗布ブレード20YB、20MB、20CB及び21Bとがそれぞれ設けられる。また3個のカラー現像器20Y、20M、20Cには塗布ローラ20YR、20MR、20CRが設けられている。

【0055】また、フランク現像器21Bはフランク本体に対して増設可能に取り付けられており、カラー現像器20Y、20M、20Cは回転軸22を中心に戻転する現像ロータリ-23にそれぞれ増設可能に取り付けられている。

【0056】フランク現像器21Bのスリーフ21BSは感光ドラム55に対して例えば300 μ m程度の微小間隔を有して配置されている。フランク現像器21Bは、器内に内蔵された送り込み部材によってトナーを送ると共に、時計回り方向に回転するスリーフ21BSの外周に塗布ブレード21Bによって塗布するように塗布帯電によってトナーへ電荷を付与する。また、スリーフ21BSに現像バグスを印加することにより、静電潜像に応じた感光ドラム55に対して現像を行って感光ドラム55にフランクトナーによる可視画像を形成する。

【0057】3個のカラー現像器20Y、20M、20Cは、画像形成に際して現像ロータリ-23の回転に伴って回転し、所定のスリーフ20YS、20MS、20CSが感光ドラム55に対して300 μ m程度の微小間隔を有して対向することになる。

【0058】これにより所定のカラー現像器20Y、20M、20Cが感光ドラム55に対向する現像位置に停止し、感光ドラム55に可視画像が作成される。

【0059】カラー画像形成時には、中間転写体49の1回転毎に現像ロータリ-23が回転し、イエロー現像器20Y、マゼンダ現像器20M、シアン現像器20C、次いでフランク現像器20B順で現像工程がなされ、中間転写体49が4回転してイエロー、マゼンダ、シアン、フランクのそれぞれのトナーによる可視画像を順次形成し、その結果フルカラー可視画像を中間転写体49上に形成する。

【0060】中間転写体49は、感光ドラム55に接触して感光ドラム55の回転に伴って回転するように構成されたもので、カラー画像形成時に時計回り方向に回転し、感光ドラム55から4回の可視画像の多重転写を受ける。また、中間転写体49は画像形成時に後述する転写ローラ50が接触して転写材42を支持搬送することにより転写材42に中間転写体49上のカラー可視画像を同時に多重転写する。中間転写体49の外周には、中間転写体49の回転方向に関する位置を検知するためのTOPセンサ49a及びRSセンサ49bと、中間転写体に転写されたトナー像の濃度を検知するための濃度センサ49cが配置されている。

【0061】転写ローラ50は、感光ドラム55に対して接触可能に支承された転写帯電器を備えたもので、金属軸を中低抗弾性材料により巻回することによって構成されている。

【0062】転写ローラ50は、図9に実線で示すように中間転写体49上にカラー可視画像を多重転写している間、カラー可視画像を乱さぬように下方に離間している。そして、上記中間転写体49上に4色のカラー可視画像が形成された後は、このカラー可視画像を転写材42に転写するタイミングにあわせてカム部材(不図示)により転写ローラ50を図示点線で示す上方に位置させる。これにより転写ローラ50は転写材42を介して中間転写体49に所定の押圧力で圧接すると共に、バグス電圧が印加され、中間転写体49上のカラー可視画像が転写材42に転写される。

【0063】定着部25は、転写材42を搬送させるながら、転写されたカラー可視画像を定着させるものであり、転写材42を加熱する定着ローラ26と転写材42を定着ローラ26に圧接させるための加圧ローラ27とを備えている。定着ローラ26と加圧ローラ27とは中空状に形成され、内部にそれぞれヒータ28、29が内蔵されている。

【0064】即ち、カラー可視画像を保持した転写材42は定着ローラ26と加圧ローラ27とにより搬送されると共に、熱及び圧力を加えることによりトナーが表面に定着される。

【0065】可視画像定着後の転写材42は、その後排紙ローラ34、35、36によって排紙部37へ排出して画像形成動作を終了する。

【0066】クリ-ニンゴ手段は、感光ドラム55上及び中間転写体49上に現れたトナーをクリ-ニンゴするものであり、感光ドラム55上に形成されたトナーによる可視画像を中間転写体49に転写した後のトナーあるいは、中間転写体49上に作成された4色のカラー可視画像を転写材42に転写した後の残トナーは、クリ-ン容器54に蓄えられる。

【0067】印刷される転写材(記録用紙)42は、給紙トレイ41から給紙ローラ43により取り出されて中

間転写体49と転写ローラ50との間に挟まれるように搬送されてカラー-トナー画像が記録され、定着部25を通過してトナー像が定着される。片面印刷の場合には、案内38が上方の排紙部に記録用紙を導くように搬送経路を形成するが、両面印刷の用紙に対しては、下方の両面ユニットに導くように経路を形成する。

【0068】両面ユニットに導かれた記録用紙は、搬送ローラ40によりトレイ41の下部(二点線線で示す搬送経路)に一旦送り込まれた後に逆方向に搬送され、両面トレイ39に送られる。両面トレイ39上では、用紙は給紙トレイ41に搬送された状態とは反対向きになり、また搬送方向について前後が逆になっている。この状態で再びトナー像の転写・定着を再実行することで、両面印刷ができる。

【0069】なお、フランクとしては、上述の電子写真フランクに限らず、4ドラム式の電子写真フランクであってもよく、例えば、熱転写フランクや熱エネルギーによる熱転写器を利用して搬送を吐出するダイオードのいわゆるバブルジェットフランクやピエゾタイプのインクジェットフランクであってもよい。

【0070】図4は、不図示であるが複数個の用紙を給紙可能であるインクジェットフランクの概略図である。同図において、駆動モータ413の正逆回転に連動して駆動力伝達ギヤ411、409を介して回転するリボースクリュー405の螺旋溝404に対して嵌合するキヤリッジ450は、ピン(不図示)を有し、矢印a、b方向に往復移動する。このキヤリッジ450には、インクジェットカートリッジ451が搭載されている。

【0071】402は紙押え板であり、キヤリッジの移動方向に亘って紙をグランド400に対して押圧する。407、408はフオートカブラで、キヤリッジのレバー406のこの域での存在を検出して、モータ413の回転方向切り換え等を行うためのホームポジション検知手段である。

【0072】416は記録ヘッドの前面をキヤリッジするキヤリッジ部材422を支持する部材で、415はこのキヤリッジ部材を吸引する吸引手段で、キヤリッジ開口423を介して記録ヘッドの吸引回復を行う。

【0073】417はクリ-ニンゴブレードで、419はこのブレードを前後方向に移動可能にする部材であり、本体支持板418にこれらが支持されている。ブレードは、この形態でなく周知のクリ-ニンゴブレードが本例に適用できることは言うまでもない。又、421は、吸引回復の吸引を開始するためのレバーで、キヤリッジと嵌合するカム420の移動に伴って移動し、駆動モータからの駆動力がクランク切り換え等の公知の伝達手段で移動制御される。

【0074】これらのキヤリッジ、クリ-ニンゴ、吸引回復は、キヤリッジがホームポジション側の領域に来た時にリボースクリュー405の作用によってそれらの

対応位置で所望の処理が行えるように構成されているが、周知のダイミソフで所望の動作を行うようにすれば、本例にはいずれも適用できる。

【0075】本発明は、複数の機器(例えばホストコンピュータ、インタフェイス機器、リ-ダ、フランクなど)が一体構成となつていてもよい。

【0076】また、本発明の目的を達成するための実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラム或いはそれを記録した記録媒体を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ(またはCPUやMPU)がそのプログラムを取出し実行することによって、達成される。

【0077】この場合、記録媒体から取出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現するとになり、そのプログラマコードを記録した記録媒体及びプログラムは本発明の権利範囲である。プログラマコードを供給するための記録媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、DVD、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROMなどを用いることができる。

【0078】また、コンピュータが取出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラマコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼動しているOS(オペレーティングシステム)などが実務の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれる。さらに、記録媒体から取出されたプログラマコードが、コンピュータにインストールに備わるメモリに格納された後、そのプログラマコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実務の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれる。

【0079】<情報提供者のポイント>本実施の形態では、情報提供者130が情報提供を希望する場合には、Candidate制御部100へ登録申請を行い、Pコードを発番してもらふ。このとき、情報提供者130は、ネットワークを介してCandidate制御部-アグセスし、図71〜78に示すような登録画面に登録に必要な情報を入力する。

【0080】まず、図71の登録画面では、情報提供者130の氏名や連絡先を入力する。

【0081】図72の登録画面では、情報提供者130は、情報提供のための画像データ或いはテキストデータ(以下、情報データという)を指定する。すると、その画像データがキヤリッジ10からどのようにフランクアウトされるかを致すプレゼン画面(図73)が表示される。プレゼン画面に問題がなければ、情報提供

若130は「サーチに転送」ボタンを押す。すると、さ
きほどの情報データがCandName制御部100へ転送され
る。

【0082】図74の登録画面では、情報提供者130
は、情報提供を開始する日、情報提供の有効期限を指定
する。情報提供の開始日から有効期限が経過すると、情
報データはキオスク端末110からプリントアウトされ
なくなる。言い換えると、キオスク端末110からCandName制
御部100へ情報データの要求があっても、情報データ
がキオスク端末110へ転送されなくなる。また、図7
5の登録画面では、情報提供者130は、情報データが
プリントアウトされるときに、文字サイズ、画像サイズを
指定する。ここでは、この情報データがプリントアウト
される際に、文字サイズは8ptから14ptの間で変
更可変であり、画像は50%から200%の間で縮小・
拡大が可能であることを示している。

【0083】更に、図76の登録画面では、情報データ
がプリントアウトされるときに同じ紙面に広告が掲載さ
れるのを許可するか否かを指定したり、情報データがプ
リントアウトされるためにバスワードが必要であるか否
かを指定する。また、広告の掲載を許可する場合でも、
紙面への印刷を許可することを指定することができる。

【0084】更に、情報提供を有効にする際には、図7
7の登録画面で料金を設定する。最後に、図78の登録
画面で、情報提供者130は情報データでどのような情
報提供を行うかCandName制御部100へ登録する。ここ
では、提供する情報データの内容からジャンル・サブジ
ヤンルを選択する。更に、この情報データがプリントア
ウトする時に広告を同時掲載する場合、どのような広告を
掲載するかを決定するためのキーワードを入力してお
く。

【0085】情報提供者130が図71〜78の登録画
面での登録作業が終了すると、CandName制御部100は
この情報データに対してPコードを発行する。それと
ともに、登録画面で入力された情報に基づいてそのPコー
ドに関する1P情報登録テーブルを作成し、PコードD
B（Pコードデータベース）へ記憶する。

【0086】図46の4601は、1P情報登録テー
ブルの一例である。最左列にはPコードが記憶される。更
に、このテーブルには、Pコードに対応する情報データ
に関する基本プロパティなどが記憶される。なお、情報
の登録提供に関するオーナー情報テーブルのリン
クが与えられる。図51の5101は、オーナー情報テー
ブルの一例である。オーナー情報テーブルには、情報提
供者130が図71に示すような登録画面で入力した情
報が記憶される。

【0087】＜ユーザのPコード＞本実施の形態では、
ユーザがCandName制御部100へ登録申請すると、Cand
Name制御部100はこのユーザに対してユーザ個人用の

Pコード（以下、ユーザのPコードという）を発番する
こともできる。ユーザのPコードは、後に詳しく説明す
るメールアドレス、パスワード、情報登録サービス（データ
預けサービス）、パーソナル情報サービスで利用され
る。

【0088】ユーザは、キオスク端末110や家のパー
ソナルコンピュータからネットワークを介して、Can
dName制御部100へアクセスし、図58〜63に示す
ような登録画面で登録に必要な情報を入力する。

【0089】図58の登録画面で、まず、ユーザは氏
名、連絡先等を入力する。図59の登録画面では、ユー
ザ登録の内容を変更するために必要なバスワードを入力
する。新規登録の場合には、バスワードの設定を行い、
以後、登録内容の変更をする場合には、新規登録のとき
に設定したバスワードを入力する。

【0090】図60の登録画面では、ユーザは、これか
ら発番してもらうPコードをどのサービスのために利用
するかを指定する。図61や62の登録画面では、ユー
ザの個人情報が入力される。特に、図62の登録画面
では、ユーザは、自分の興味のある情報がないかあるか
をCandName制御部100へ登録しておくことができる。

【0091】最後に、ユーザは、情報をキオスク端末1
10でプリントアウトさせるときに、見易さを優先してプ
リントアウトさせるか、ページ優先でプリントアウトさせ
るか、デザイン優先のレイアウトでプリントアウトさせる
かなどを、図63の登録画面で指定する。また、図63
の登録画面では、情報をプリントアウトさせるとき用の
紙サイズや用紙方向なども指定できる。また、図63の
登録画面では、情報提供に広告をプリントアウトする時
に、画面印刷が必要ない場合には、優先して画面印刷を行
なうか否かの登録もしておくことができる。

【0092】ユーザによる図58〜63の登録画面での
登録作業が終了すると、CandName制御部100はこのユーザに
対してPコードを発行する。それとともに、そのPコー
ドに関するユーザ情報テーブルを作成し、PコードDB
（Pコードデータベース）へ記憶する。

【0093】図48の4801は、ユーザ情報テー
ブルの一例である。最左列にはPコードが記憶される。更
に、このテーブルには、このPコードを有するユーザに
関するユーザプロパティ、このPコードを有するユーザ
に関する個人情報テーブル、このPコードがメールサー
ビス、情報登録サービス（配送サービス）、パーソナル
情報サービスに使用されるときに必要な情報などが記憶
される。なお、個人情報テーブルには、このPコードを
有するユーザに関する個人情報テーブルのリンクが与え
られる。図50の5001は、個人情報登録テーブルの一例
である。個人情報登録テーブルには、ユーザが図58〜63
に示すような登録画面で入力した情報が記憶される。

【0094】＜キオスク端末の処理動作＞以下、キオスク
端末110の処理動作について説明する。図5は、ユ

ーザがキオスク端末110の前に立って端末を使用し始
めた後の、キオスク端末110の処理動作のメインフロ
ーチャートである。まず、ユーザがキオスク端末110
の前に立ったとき、キオスク端末110は、操作部25
1のボタンに図23に示す初期画面を表示している（ス
テップ501）。初期画面には、Pコードを入力する入
力方法を選択するための3つのボタン2301、230
2、2303がある。また、初期画面には、ユーザが情
報登録サービスを利用したいときに押すボタン2304
がある。

【0095】ユーザが初期画面の上記ボタンのいずれか
を押すと、キオスク端末110はどのボタンが押されたかを判
定する（ステップ501）。「携帯電話から入力」の
ボタン2302が押された場合（ステップ501-電
話）には、図26に示す画面を表示する。すると、ユー
ザがこの画面を見て、携帯電話などの情報検索装置・端
末120からPコードを入力し、画面上の「[解除] ボタ
ン」を押すことによって、ステップ508に移る。

【0096】一方、「ハンディスキャナ入力」のボタン
2303が押された場合（ステップ502-スキャ
ナ）には、図27に示す画面を表示する（ステップ5
05）。

【0097】そして、ユーザがキオスク端末110の端
に置いてあるハンディスキャナコード段上のコードをス
キャナに読み取らせて、「[解除] ボタン」が押されたとき
キオスク端末110が判定した場合は（ステップ506-
[解除]）には、ステップ512に移る。なお、ハンディ
スキャナコード段には、情報プリントサービス用のPコー
ドが載せられていないため、ここでは、即座に情報プ
リントサービスの処理に移る。ステップ506で、ユ
ーザが「[取消]」のボタンを押したと判定した場合（ステ
ップ506-取消）には、ステップ501に戻って、初
期画面を表示する。

【0098】また、初期画面において、「情報登録サ
ービス」はここを押して下さいのボタンが押された場合
（ステップ501-データ預け）の処理に移る。

【0099】また、初期画面において、「タッチパネル
で入力」のボタンが押された場合（ステップ502-
タッチパネル）には、図24に示すコード入力画面を表
示する。コード入力画面には、ユーザがコードを入力す
る際に利用するテンキーと、「[解除] ボタン」、「[取消]
」ボタン、「[訂正ボタン]」、「[コード入力] ボタン」があ
り、2つのボタンが押されたかを判定する（ステップ5
02）。テンキーが押された場合には、押されたキーに
対応する文字・数字を表示する。「[訂正] ボタン」が押さ
れた場合には、表示しているコードを一旦消す。

【0100】「[取消] ボタン」が押された場合（ステッ
プ508-取消）には、ステップ501に戻って、初期
画面を表示する。「[コード入力] ボタン」が押された場合

（ステップ508-コード入力）には、現在入力され
ているコードをRM219に記憶して、ユーザが次のコー
ドを入力できるように、新たにコード入力画面を表示
する（ステップ507）。

【0101】「[解除] ボタン」が押された場合（ステッ
プ508-解除）には、RM219に記憶されている、ユ
ーザが入力したコードをCandName制御部100へ転送す
る（ステップ509）。CandName制御部100は、
受け取ったコードからそのコードに関連するサービス
タイプを判定するので、キオスク端末はその判定結果（サ
ービスタイプ）を受信する（ステップ510）。

【0102】そして、受信したサービスタイプが情報プ
リントサービス（情報サービスという）であるか
ます判定する（ステップ511）。情報プリントサ
ービスでなければ、その他のサービス処理を行う（ステッ
プ512）。

【0103】サービスタイプが情報プリントサービスで
あれば（ステップ511-Yes）、情報サービス処
理を行う（ステップ512）。なお、情報サービス処
理については、後に詳細を説明する。

【0104】ステップ512では、ステップ512で、
各サービス処理が終わった場合には、図28に示す決算
処理画面を表示する（ステップ513）。決算処理を
行う（ステップ514）。なお、サービス処理の過程
で、サービス料金が無料になった場合には、ステップ
513及び514の処理を行わずに、⑥から本メイ
ンフローチャートを終了する。

【0105】以後、各サービス処理、決算処理における
キオスク端末110の動作を説明する。

【0106】＜情報サービス処理＞図6は、情報処理サ
ービスを提供する場合のキオスク端末110の動作を示
すフローチャートである。まず、図5の5509で表示
したPコードについて、そのPコードに対応する情
報プロパティデータやレビュー画像データをCand
Name制御部から受信する。ここで言うプロパティデータと
は、情報のタイトル名（ジャンル名）、料金、印刷した
ときの枚数などである。

【0107】次に、取得したデータを基に、図29に示
すようなリスト画面を表示する。図29のリスト画面に
は、ユーザが入力したPコードに対応する情報のリスト
2908と各項目に対する印刷設定ボタン2901、2
902、「広告の配信」ボタン2903、「印刷/レビュー
」表示のボタン2904、「印刷」ボタン290
5、「戻る」ボタン2906、「取消」ボタン2907
がある。

【0108】キオスク端末110は、ユーザがいずれの
ボタンを押したかを判定する（ステップ5602）。ユ
ーザが印刷設定ボタンを押した場合（ステップ5603
-「カラー」「白黒」「しない」）には、「カラー」
画面を表示する。「[コード入力] ボタン」が押された場合

それに合わせて表示を変更する。なお、「カラー」「白黒」「しない」はそれぞれ、Pコードに対応する情報からカラープリントするか、白黒（モノクロ）プリントするか、プリントしないかを示している。ステップS29時点では、全てのPコードについて「カラー」が選択されているものとする。

【0109】「取消」ボタンが押された場合（ステップS603＝取消）には、Candine（印刷部～キーヤンセル）指示を送信して、図5のステップS501に戻る。

【0110】「印刷/プレビュー表示」ボタンが押された場合（ステップS603＝プレビュー）には、ステップS601で受信したプレビュー画像データをもとに、図30に示すようなプレビュー画面を表示する。このプレビュー画面には、プリントされる情報の概要を示すプレビュー画像3001、次のページのプレビュー画像を表示するための「次頁の表示」ボタン、前のページのプレビュー画像を表示するための「前頁の表示」ボタン、先ほどのリスト画面に戻るための「メイン画面に戻る」ボタンがある。キオスク端末110は、プレビュー画面のいずれのボタンが押されたかを判定する（ステップS610）。

【0111】「次頁の表示」ボタン、或いは「前頁の表示」ボタンが押された場合（ステップS610N）には、次頁或いは前頁のプレビュー画像を表示する。「メイン画面に戻る」ボタンが押された場合（ステップS610＝Yes）には、図29に示すようなリスト画面を表示した後、ステップS603に戻る。

【0112】なお、ステップS605では、ステップS601で受信したプレビュー画像を表示するようにしたが、次に説明する「広告の既定」でユーザが選択した広告の出力形式を考慮したプレビュー画像を表示するようにしてもよい。このときには、現時点でユーザが選択している広告の出力形式をCandine（印刷部～キーヤンセル）に作成させる。そして、その広告付のプレビュー画像データを受信して、プレビュー画面に広告付のプレビュー画像を表示する。

【0113】図29のリスト画面で、「広告の既定」ボタンが押された場合（ステップS603＝広告の既定）には、図31に示すような「広告の印刷」の画面を表示し（ステップS604）、印刷料金処理（S609）を行う。

【0114】＜印刷料金処理＞この印刷サービスでは、ユーザが、情報提供者130が提供する情報をプリントアウトするときには、サービス料金を含んだ印刷料金を支払う。しかし、印刷時に広告が載せられた場合には、印刷料金の一部が広告料金によってまかなわれ、印刷料金が減額される。更に、広告の載せ方や広告量によって、印刷料金の減額量が変化する。

【0115】従って、図31の「広告の印刷」の画面において、ユーザは、印刷料金の減額を考慮しながら、広告の出力幅幅を選択することができ、（「広告の印刷」の画面には、記号のついたスペースに広告を印刷するかしないかを選択する「する」「しない」ボタン3101、裏面に広告を印刷するかしないかを選択する「する」「しない」ボタン3102、他のもう1ページに広告を印刷するかしないかを選択する「する」「しない」ボタン3103、「了解」ボタン、）「取消」ボタンがある。

【0116】図7は、印刷料金処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。まず、「広告の印刷」の画面において、いずれのボタンが押されたかを判定する（ステップS701）。「する」「しない」ボタンが押された場合（ステップS701＝「する」「しない」）には、どのような出力形式が選択されたかを記憶して、「する」「しない」のいずれが選択されているかをユーザに分かるように、画面の表示を変更する。

【0117】「取消」ボタンが押された場合（ステップS701＝取消）には、広告の既定を行わずに処理を終了する。「了解」ボタンが押された場合には、広告の出力形式をCandine（印刷部～送信機）として（ステップS703）、広告の出力形式が考慮された印刷料金を受信する。

【0118】なお、Candine（印刷部100）は、広告の掲載が行なわれない場合には、情報提供者が図7の登録画面で入力し、図46の1P情報登録メニューからの情報面格の欄に格納された料金をもとに印刷料金を算出する。この時、更に、図29の印刷設定の選択に応じて、モノクロプリントの料金やカラープリントの料金、用紙の料金を考慮して、印刷料金を算出する。

【0119】また、Candine（印刷部100）は、広告の掲載が行なわれる場合には、上記のような印刷料金の算出を行なった上で、広告掲載による割引料金を一減算出した印刷料金から引いて、改めて印刷料金を算出する。なお、割引き料金は、広告掲載量や、広告を版面にプリントしたか・裏面にプリントしたかで可変とする。

【0120】ただし、通常の印刷料金から割引料金を引いた後に、料金が負になった場合には、印刷料金を0円にするか、或いは、所定額に設定する。

【0121】印刷料金処理を終了すると、リスト画面の欄2903の印刷料金を適宜変更してリスト画面を表示し、図6のステップS603に戻る。

【0122】＜印刷処理＞図29のリスト画面において、「印刷」ボタンが押され（図6のステップS603＝印刷）には、現時点での印刷料金が無料であるか、有料であるかを判定する。印刷料金は、ステップS601で受信したPコードに関する情報の料金や、ステップS704で受信した広告が考慮された印刷料金など

から計算される。

【0123】印刷料金が有料である場合には、情報サービス処理を終了して、図5のステップS513に移る。印刷料金が無料である場合には、即座に印刷処理を行い（ステップS612）、図5の③からメインフローを終了する。

【0124】図8は、印刷処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。まず、Candine（印刷部～印刷データ（プリントデータ））の要求を出す（ステップS801）。このとき、キオスク端末110は、図29のリスト画面で印刷すると選択されたPコードに関する印刷データを要求する。また、その際、カラー印刷をするのか、白黒印刷をするのかをCandine（印刷部～知らせること、カラー用或いは白黒用の印刷データをCandine（印刷部）から受信する。更に、印刷料金処理で選択された広告の出力形式もCandine（印刷部）へ知らせる。

【0125】そして、Candine（印刷部）から印刷データを受信する（ステップS802）。そして、その印刷データをプリント（印刷部17）へ転送し、印刷を開始させる。更に、印刷が終了したか否かを判定し（ステップS804）、印刷中であれば（ステップS804＝N）o、プリント中の画面を表示し、印刷が終了すれば（ステップS804＝Yes）、プリント終了の画面を表示する。

【0126】＜その他のサービス処理＞上記において、情報プリントサービス処理におけるキオスク端末110の一連の動作を説明してきたが、以下、情報登録サービス（データ受けサービス）、パーソナル情報サービス、メールプリントサービスについて説明する。

【0127】＜情報登録サービス（データ受けサービス）＞図23のキオスク端末110の初期画面において、「情報登録サービス」ここを押してください」というボタン2304が押された場合（図5のステップS502＝データ受け）には、情報登録サービス処理（S503）を行う。

【0128】図14は、情報登録サービスを提供するときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。ユーザが情報登録サービスを利用する際には、ユーザは、ユーザ自身を特定するために電話番号を登録する必要がある。従って、まず、図38の3801に示すような電話番号入力画面を表示する（ステップS1401）。その画面で、「了解」ボタンがユーザにより押されたのを確認して、入力された電話番号をCandine（印刷部～送信機）（ステップS1402）。

【0129】すると、Candine（印刷部）は、その電話番号と同一のPコードをキーにして、ユーザ登録がすでに行われているか否かを判定する。つまり、ユーザがすでにCandine（印刷部）に登録されている、Pコードを保持しているか否かを判定する。なお、ユーザ

がすでにPコードを保持しているときには、Candine（印刷部）は、図48の4801示すような、そのPコードに関するユーザ情報データベースに移る。

【0130】従って、Candine（印刷部）は、入力された電話番号からそのユーザのユーザID（ここでは、Pコード保持者であるか否か）を特定して、キオスク端末110に送信するので、キオスク端末110はそのユーザIDを受信する（ステップS1403）。そして、そのユーザIDから、そのユーザがPコード保持者であるか否かを判定する（ステップS1404）。

【0131】ユーザがPコード保持者でなければ（ステップS1404＝N）o、即座にステップS1408に移る。ユーザがPコード保持者であれば（ステップS1404＝Yes）、図38の3802のパスワード画面を表示して、ユーザにパスワードを入力させる。そして、そのパスワードをCandine（印刷部～転送機）として（ステップS1406）、Candine（印刷部）はユーザ側をおこなう。キオスク端末110は、Candine（印刷部）からパスワードが正しい旨が送られてきた場合（ステップS1407＝Y）には、ステップS1408に移る。パスワードが正しくない旨が送られてきた場合（ステップS1407＝N）には、ユーザに再度パスワードの入力を行わせるべく、ステップS1405に戻る。

【0132】ステップS1408では、情報登録方法（データ受け方法）画面を表示する。

【0133】情報登録の方法には、スキャナで画像をスキャンして情報を入力する方法と、外部機器から情報を入力する場合がある。例えば、前記の場合には、ユーザは、ノートや本などの紙媒体をスキャナでスキャンさせる。後者の場合には、ユーザは、ノートパソコンやモバイル端末からケーブル接続や無線接続を介してキオスク端末110に情報を入力する。

【0134】従って、図39の情報登録方法画面は、「スキャナを使用」ボタン3901、「外部機器を使用」ボタン3902がある。そして、いずれのボタンが押されたかを判定する（ステップS1409）。

【0135】「スキャナを使用」ボタン3901が押された場合（ステップS1409＝Yes）には、スキャナ処理を行う（ステップS1410）。図15は、スキャナ処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。まず、ユーザがスキャナ使用を選択した場合には、図40に示すようなスキャナ入力指示の画面を表示する（ステップS1501）。

【0136】ユーザが原稿をセットして、スキャナ入力指示画面の「了解」ボタン4001を押したのを確認して（ステップS1502＝Yes）、スキャナにスキャンさせる（ステップS1503）。そして、原稿の読み取りが成功したか否かを判定する（ステップS1504）。

【0137】 原稿読み取りが成功していなければ、ステップS1504-N)、平度読み取りを行うべく、ステップS1501に戻る。原稿読み取りが成功していれば、(ステップS1504-Y)、読み込んだ画像データのプレゼン画面を表示する(ステップS1505)。図41は、プレゼン画面の一例である。4101にプレゼン画面が表示される。プレゼン画面には、「次へ」ボタン4102、「更に別のデータを登録」ボタン4103、「登録取消」ボタン4104があるので、いずれのボタンが押されたかを判定する(ステップS1506)。

【0138】 「更に別のデータを登録」ボタン4102が押された場合(ステップS1506-Ye)には、ステップS1503で読み込まれた画像データを一旦RAM19或いは外部メモリ14に記憶する(ステップS1507)。そして、再度、図40に示すキヤプ入力指示画面を表示して(ステップS1510)、キヤプ入力指示画面の「終了」ボタンが押されたのを確認して(ステップS1511)、ステップS1503に戻る。

【0139】 図41のプレゼン画面で「次へ」ボタンが押された場合(ステップS1506-No)、ステップS1508-Ye)には、最後に読み込んだ画像データをRAM19或いは外部メモリ14に記憶して(ステップS1509)、この処理を終了する。図41のプレゼン画面で「登録取消」ボタンが押された場合(ステップS1506-No、ステップS1508-No)、ステップS1509で記憶された画像データを無効(或いは消去)して、図14のステップS1401に戻る。

【0140】 図39の情報登録方法画面において、「外部機器を使用」ボタン3902が押された場合(ステップS1409-No)には、キヤプ処理と同様な処理を行う(ステップS1411)。なお、ステップS1411の詳細な説明は省略する。

【0141】 ステップS1410及びステップS1411の処理が終了すると、図42に示すようなパスワード設定画面を表示する。このパスワードは、ここで登録された情報をユーザ或いはユーザ以外の他人が情報プリントサービスでプリントアウトするときに入力する必要があるパスワードである。

【0142】 更に、図43に示すような有効期限入力画面を表示する(ステップS1602)。そして、情報をしてのくらの期間登録しておくかをユーザに選択させる。図43の有効期限入力画面では、ユーザは、「明日まで」、「1週間」、「1ヶ月」のいずれかを選択することができ、キオスク端末110は、いずれが選択されたかを記憶しておく。

【0143】 その後、入力された画像データ、画像データのデータタイプ、画像データのページ数、パスワード、有効期限をCanDine制御部へ転送する。す

ると、CanDine制御部は登録した情報に対してPコードを発行し、そのPコードと登録料金を送信して、それらを受信する(ステップS1604)。

【0144】 最後に、預かった画像データに関する、Pコード、パスワード、データ量、有効期限、登録料金などを図44に示すように表示する。図44の場合では、情報プリントサービスでPコード109027648234#4)を指定することで、先ほど登録された画像データをプリントアウトすることができ、また、Pコードが有効な期間は1週間であり、それ以後は、このPコードで先ほど登録された画像データをプリントアウトすることはできない。そして、「終了」ボタン4401がユーザにより押されたことを確認して、この処理を終了する。

【0145】 <パーソナル情報サービス>図5のステップS511で、サービスタイプが情報プリントサービス以外であれば(ステップS511-No)、その他のサービス処理を行う(ステップS512)。図11は、その他のサービス処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。本実施の形態では、その他のサービスとしてメールプリントサービスとパーソナル情報サービスがあるので、更に、サービスタイプがメールプリントサービスであるか、パーソナル情報サービスであることを判定する。

【0146】 サービスタイプがパーソナル情報サービスであった場合(ステップS1101-パーソナル情報サービス)には、パーソナル情報サービス処理を行う(ステップS1103)。

【0147】 具体的に、サービスタイプがパーソナル情報サービスであるかどうかの判断は次のように行う。図5のステップS509で、入力されたPコードがCanDine制御部100へ送信されると、CanDine制御部100は、入力されたPコードが、「<電話番号>#」或いは「<電話番号>#<数字>」であるかどうか判断する。そうであった場合には、サービスタイプがパーソナル情報サービスであると判断し、サービスタイプをキオスク端末に返送する。図12は、パーソナル情報サービスを提供するときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。

【0148】 まず、図38の3802に示すようなパスワード入力画面を表示して(ステップS1201)、ユーザにパスワードの入力を促す。ユーザがパスワードを入力したのを確認して、入力されたパスワードをCanDine制御部へ転送する(ステップS1202)。すると、CanDine制御部は、図5のステップS509でキオスク端末110が送信したPコードをキーにして、そのPコードに関するユーザ情報テーブルを検索する。そして、そのユーザ情報テーブルからリンクが張られている個人情報テーブルの中の電話番号の属性に記憶されている値と受信したパスワードとを照合す

る。一致していれば、キオスク端末110にその旨を送信する。

【0149】 キオスク端末110は、CanDine制御部からのレスポンスを受信して(ステップS1203)、そのレスポンスがパスワードが正しい旨であるかを判定する(ステップS1204)。パスワードが正しい旨であれば(ステップS1204-Y)、再度パスワードをユーザに入力させるべく、ステップS1201に戻る。パスワードが正しい旨であれば、図34に示すような登録フレーム画面を表示する(ステップS1205)。

【0150】 ユーザは、登録フレームに対して1つ或いは複数のPコードを登録しておくことにより、登録フレームに対応するPコード(ここでは、このPコードを特に、パーソナルPコードという)をキオスク端末に入力するだけで、その登録フレームに対して登録された1つ或いは複数の情報データから構成される紙面を簡単にプリントアウトすることができる。

【0151】 例えば、図34の「大相撲豊後取/プロ野球昨日の試合結果」では、ユーザは、相撲情報関連のPコードやプロ野球関連のPコードなど複数のPコードを、登録フレーム「大相撲豊後取/プロ野球昨日の試合結果」に登録しておくことで、相撲情報やプロ野球情報が掲載の個人好みの紙面をプリントアウトすることができる。

【0152】 なお、登録フレームに対してはそれぞれパーソナルPコードが発行されており、ここでは、「<ユーザのPコード>#<フレーム番号>」がパーソナルPコードとなる。例えば、ユーザが図5のステップS507で入力したユーザのPコードが「24535」であった場合、図34の1つめの登録フレームのパーソナルPコードは、「24535#1」となる。

【0153】 ユーザが、図60の登録画面でパーソナル情報サービスを選択すると、まず、図48のユーザ情報テーブルの「Personal P-Codeサービス情報」の欄にパーソナルPコードが登録され、図49のパーソナルPコード用テーブルが生成される。パーソナルPコードは、最初の登録フレームなので、「<ユーザのPコード>#1」である。また、登録フレームは複数作成することができ、2個めの登録フレームのパーソナルPコードは「<ユーザのPコード>#2」となる。なお、この実施の形態では、ユーザのPコードはユーザの電話番号であるとして記憶されている。登録フレームに対して登録されたPコードは、図49の「P-Codeリスト」に格納されていく。

【0154】 なお、登録フレームに対して登録されたPコードに対応する情報は、固定的な情報であっても構わないが、通常は、「株式の株価」や「明日の天気」などの情報であって、時間と共に内容が変化する情報である。

【0155】 つまり、図49の「P-Codeリスト」に格納されているPコードが対応する情報データは時間と共に更新されることができ、また、「P-Codeリスト」に格納されているPコードがパーソナルPコード(元のパーソナルPコードをAとし、このパーソナルPコードをBとする)であってもよく、この場合には、パーソナルPコードBに登録されているPコードのうち情報データが最新のものを、パーソナルPコードAに登録されているPコードとすることができ、

【0156】 なお、図81及び図82は、ステップS1205の登録フレーム画面を表示する際に、CanDine制御部100の動作を示すフローチャートである。まず、キオスク端末110で入力されたPコードからユーザPコード(電話番号)の部分抽出する(ステップS101)。そして、ユーザのPコードで、図48のユーザ情報テーブルを検索して、このユーザのPコードに関する情報を取得する(ステップS8102)。ユーザがパーソナル情報サービスの提供を受けている場合には、このユーザに対してパーソナルPコードが発行されており、そのパーソナルPコードがユーザ情報テーブルに格納されている(Personal P-Codeサービス情報)。

【0157】 次に、キオスク端末110で入力されたPコードが「#」で終わっているかどうかを判定する(ステップS8104)。終わっていない場合、すなわち、パーソナルPコードが直接入力されている場合には、図82のフローチャートを実行する。「#」で終わっている場合には、このユーザに発行された全てのパーソナルPコードに関する情報を取得するために、ステップS8105～S8110のフローチャートを実行する。

【0158】 「#」で終わっている場合は、まず、先のPersonal P-Codeサービス情報にパーソナルPコードのリストから、順にパーソナルPコードを1つずつ取得する(ステップS8105)。更に、このパーソナルPコードで、今度は図49のPersonal P-Codeサービス用P-Codeテーブルを検索して、このパーソナルPコードに関する情報を取得する(ステップS8106)。

【0159】 登録フレームにPコードが登録されている場合には、その登録されているPコードがPersonal P-Codeサービス用P-Codeテーブルに格納されている(登録P-Code情報)。従って、その登録P-Code情報にあるPコードのリストから、順にPコードを1つずつ取得する(ステップS8107)。

【0160】 そして、取得したPコードで、図46の1P情報登録テーブルを検索して、このPコードに関する情報を取得する(ステップS8108)。ここで、取得される情報の中には、このPコードのタイムスタンプが含

まれている。

【0161】なお、Pコードに関する情報を取得する際には、1P情報登録テーブルの識別部をチェックする。まず、「リソグ」の欄に、リソグ先のPコードが格納されているかを判定する。格納されている場合には、そのリソグ先のPコードに媒体情報（印刷される情報データなど）があるので、そのリソグ先のPコードで、図46の1P情報登録テーブルを再参照して、そのPコードに関する情報を取得する。

【0162】「リソグ」の欄にリソグ先のPコードが格納されていない場合には、次に、「Sub-Code」を持つかどうかのフラグに格納されている値を調べ、Sub-Codeを持つかどうかを判定する。Sub-Codeを持つ場合には、これは、フレーム情報である。

【0163】フレーム情報とは、上記の登録フレームと同等なものではあるが、違いは、情報提供者が提供するフレームであるという点である。つまり、情報提供者が、複数の情報（それぞれにはPコードが実行されている）を一つのPコードで提供したい場合に、フレーム情報を作成する。使い方としては、例えば、時間と共に変化する情報データの題題をSub-Codeで管理しておき、一つのPコードで題題にアクセスできるようにしておく。

【0164】ここでは、Sub-Codeが最大ものを最新情報であると仮定して、Sub-Codeを持つと判定された場合、「Sub-Code部」に格納されているPコードのうち最大なもので、1P情報登録テーブルを再参照し、そのPコードに関する情報を取得する。

【0165】ステップS8107で取得したPコードが、登録P-Code情報の中の最後のPコードであることを判定して（ステップS8109）、最後までなければステップS8107に戻って、次のPコードに関する情報を取得する。

【0166】最後のPコードであれば、ステップS8105で取得されたパーソナルPコードが、Personnel P-Codeであるかを判定して（ステップS8110）、最後までなければステップS8105に戻って、次のパーソナルPコードに関する情報を取得し、最後まで、ステップS8111に進む。

【0167】一方、ステップS8104で、「##」で入力されていると判断しない判定された場合には、入力されたパーソナルPコードで、図49のPersonnel P-Codeデータベース用P-Codeテーブルを検索して、このパーソナルPコードに関する情報を取得する（ステップS8112）。

【0168】そして、更に、このパーソナルPコードの登録P-Code情報にあるPコードのリストから、順

にPコードを1つずつ取得し（ステップS8113）、そのPコードで、1P情報登録テーブルを検索して、このPコードに関する情報を取得する（ステップS8114）。取得される情報は、ステップS8108と同様である。

【0169】最後に、ステップS8113で取得したPコードが、登録P-Code情報の中の最後のPコードであることを判定する（ステップS8115）。最後までなければステップS8113に戻って、次のPコードに関する情報を取得し、最後まであればステップS8111に進む。

【0170】ステップS8111では、ステップS8106やS8108、或いは、ステップS8112やS8114で取得した情報をキオスク端末110に送信する。この情報の中には、パーソナルPコード（登録フレーム）のタイトルや、登録された各Pコードのタイトルなどが含まれている。そして、この情報をもとに、キオスク端末110は、図34や図36の表示画面を生成する。

【0171】なお、図34の登録フレーム画面には、現在ユーザが作成している登録フレームのリスト3411、「情報登録・変更」ボタン3406、「印刷プレビュー」ボタン3407、「印刷」ボタン3408、「新しい」ボタンなどがあ

る。

【0172】ここで、キオスク端末110は、登録フレーム画面のいずれのボタンが押されたかを判定する（ステップS1206）。「する」「しない」ボタンが押された場合（ステップS1206-「する」「しない」）には、各登録フレームを印刷するかしないかをステップ1207を変更し、併せて画面表示を変更する。

【0173】「情報登録・変更」ボタンが押された場合（ステップS1206-登録変更）には、登録変更処理を行う（ステップS1207）。図13は、登録変更処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。まず、キオスク端末110は、図35に示すような変更登録画面を表示する。この変更登録画面には、変更するフレームを指示するためのデジキー及び「解除」ボタン3502、新規フレームの登録を指示するための「新規フレームを登録」ボタン3501などがある。キオスク端末110は、いずれのボタンが押されたかを判定する（ステップS1302）。

【0174】「新規フレームを登録」ボタン3501が押された場合（ステップS1302-登録）には、新たにフレームを作成して（ステップS1303）、図34の登録フレーム画面にリストアップする。

【0175】デジキーが押され、その後、「解除」ボタン3502が押された場合（ステップS1302-変更）には、入力されたフレーム番号を特定し（ステップS1304）、そのフレーム番号に対応する登録フレームの内容を図36に示すように表示する（ステップS130

5) この画面には、登録フレームに登録されているPコードのリスト3604、「新規P-Codeの追加」ボタン、各Pコードを登録しないを指定するための「する」「しない」ボタン、「解除」ボタン、「戻る」ボタンなどがある。

【0176】キオスク端末110は、この画面で、いずれのボタンが押されたかを判定する（ステップS1306）。「する」「しない」ボタンが押された場合（ステップS1306-「する」「しない」）には、各Pコードを登録するかしないかを示すフラグを変更し、併せて画面を変更する（ステップS1307）。

【0177】なお、あるPコードを登録しないことが選択された場合、その旨がキオスク端末110からCandine印刷部100へ転送される。すると、Candine印刷部100は、当該Pコードを、図49の登録P-Code情報のP-Codeリストから削除する。

【0178】「新規P-Codeの追加」ボタン3606が押された場合（ステップS1306-新規コード）には、コード入力画面を表示して、ユーザにPコードを入力させる。更に、入力されたPコードをCandine印刷部100へ転送して、そのPコードに対応する情報データの内容を受信する。そして、図36の画面に、新たに登録されたPコードをリストアップして（ステップS1312）、ステップS1306に戻る。

【0179】図36の画面で、「戻る」ボタンが押された場合（ステップS1306-その他、ステップS1308-戻る）には、ステップS1304に戻り、「解除」ボタンが押された場合（ステップS1306-その他、ステップS1308-解除）には、この処理を終了する。

【0180】図34の登録フレーム画面で「印刷プレビュー」ボタン3407が押された場合（ステップS1206-プレビュー）には、登録フレームに登録されているPコードに対応する情報データを受信して、そのデータをもとにプレビュー画面を表示する。或いは上布データの概要を示すプレビュー用データを受信し、そのデータをもとにプレビュー画面を表示してもよい。更に、このステップで、図37に示すような画面を表示して、フレーム用紙サイズや用紙方向を選択できるようにしてもよい。プレビュー画面で「解除」ボタンが押された時点でステップS1205に戻る。

【0181】最後に、図34の登録フレーム画面で「印刷」ボタンが押された場合（ステップS1206）には、印刷料金処理を行う（ステップS1210）。この印刷料金処理は、図7のフローチャートに示す通りである。なお、本実施の形態では、パーソナル情報サービスの場合は、広告が所定の出力形式で印刷されるとしている。しかし、情報プリントサービスと同様に、図34の登録フレームの画面に「広告の設定」ボタンを設け、図6のステップS604及びS609と同様の一連の処理を行

る（ステップS1206の後に設けてもよい）。

【0182】印刷料金処理を行った結果、印刷料金有料であるか否かを判定する（ステップS1211）、有料でなければ（ステップS1211-N）、即座に印刷処理を行い（ステップS1213）、有料であれば（ステップS1211-Y）、印刷処理を行わずに、この処理を終了する。

【0183】＜メールアドレスサービス＞図11のステップS1101で、サービスタイプがメールアドレスサービスであると判定される（ステップS1101-メールアドレスサービス）と、メールアドレスサービス処理を行う（ステップS1102）。

【0184】メールアドレスサービス処理は、図6のフローチャートが示す情報サービス処理とほぼ同様である。ただし、図6のステップS602では、情報のプロバイダーやアドレスサービス画面データをCandine印刷部100から受信する代わりに、メールアドレスサービス画面データを受信する。

【0185】また、ステップS602では、図29の画面に代えて、図32のメールアドレス画面を表示する。図32のメールアドレス画面には、ユーザ宛てのメールアドレス3211と各項目に対する印刷設定ボタン3204、3205、3206、「オプショ

ン設定」ボタン3207、「印刷プレビュー表示」ボタン3207、「印刷」ボタン3208、「戻る」ボタン3209、「取消」ボタン3210がある。情報サービス処理と違う点は、「オプショ

ン設定」ボタンが押された場合には、図33に示すような画面を表示して、ユーザはメールアドレスのプリントの仕方を選択することができ、メールアドレスは主にテキストデータで送られてくるため、複数メールを1枚の紙面

にまとめてプリントアウトすることが可能である。そのため、ユーザは、図33に示すような選択を行うことができる。

【0186】また、本実施の形態では、メールアドレスサービスの場合は、広告が所定の出力形式で印刷されるとしている。しかし、情報プリントサービスと同様に、図32のメールアドレス画面に「広告の設定」ボタンを設け、図6のステップS604及びS609と同様の一連の処理を設けてもよい。

【0187】＜決済処理＞図5のステップS512及びステップS512でそれぞれのサービス処理が終了し、かつ、これらの処理中に印刷処理がされていない場合には、図28に示すような決済処理画面を表示して（ステップS513）、決済処理を行う（ステップS514）。

【0188】図28の決済処理画面には、「料金で支払う」ボタン2801、「クレジットカード」ボタン2802、「オンライン決済」ボタン2803、「デビットカード」ボタン2804、「クレジットカード」ボタン2805などがあり、ユーザは複数の決済方法の中から

希望する決裁方法を選択することができる。

【0189】図9は、決裁処理するときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。決裁処理画面を表示した後、ユーザがいずれのボタンを押したかを判定する(ステップS902)。「取消」ボタンが押された場合(ステップS902-キャンセル)には、Candidate制御部100へキャンセル指示を出して、図5のステップS501に戻る。

【0190】「オプライン処理」ボタン2803が押された場合(ステップS902-オンライン処理)には、ユーザ名とパスワードを入力させる画面を表示して(ステップS909)、入力された情報をCandidate制御部100へ転送し(ステップS910)、所定のオンライン処理を行う。

【0191】「デビッドカード」ボタン2804は「クレジットカード」ボタンが押された場合(ステップS902-デビッドクレジットカード)には、まず、カード情報の読み取りを行う(ステップS904)。そして、読み取りが成功したかを判定し(ステップS905)、成功しなれば(ステップS905-N)ステップS904に戻る。

【0192】成功すれば(ステップS905-Y)、そのカード情報をもとにオンライン処理をCandidate制御部100へ要求し(ステップS907)、オンライン処理の結果を受信する(ステップS907)。オンライン処理の結果、決裁不可であれば(ステップS908-N)、他の決裁方法を選択させるべくステップS902に戻り、決裁可であれば(ステップS908-Y)es)、印刷処理に移る。

【0193】「現金で支払う」ボタンが押された場合(ステップS902-現金)には、現金処理を行う(ステップS903)。図10は、現金処理するときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。まず、現金支払いの方法には、キオスク端末のオプションやその店の方針に応じて、現金をレジで支払う場合と、現金をキオスク端末110に設置されているコインに入れる場合とがある。

【0194】従って、現金をレジで支払う場合、つまり、バーコードを用紙にプリントアウトする必要がある場合(ステップS1001-Y)には、バーコード用印刷データを印刷料金に応じて生成し、Candidate制御部100から受信した印刷データに付加する処理を行う。

【0195】現金をコイン入れから入れる場合(ステップS1001-N)には、コインカウンをを行い(ステップS1002)、現金が印刷料金分支払われたかを判定する(ステップS1003)。印刷料金分が支払われた時点で(ステップS1003-Yes)、この処理を終了する。

【0196】いずれかの決裁方法で決裁が終了した時点で、印刷処理を行う(ステップS912)。

【0197】＜印刷データ(プリントデータ)の生成＞ここでは、Candidate制御部100が、キオスク端末110が送信してきたPコードや広告の出力形式などに基づいて、印刷データ(プリントデータ)を生成するときの動作を説明する。Candidate制御部100は、キオスク端末110から印刷データの要求があると、印刷データの生成を開始する。図53は、印刷データを生成するときのCandidate制御部100の動作を示す基本フローチャートであり、図17は、広告付きの印刷データを生成するときのCandidate制御部100の動作を示すフローチャートである。以下、図17のフローチャートを用いて説明を行う。なお、ここでは、情報データから印刷データを生成するときについて主に説明するが、情報データがメモリのデータに置き換わっても処理は同様である。

【0198】まず、Candidate制御部100は、ユーザがプリントアウトを希望しているPコードを取得する(ステップS1701)。キオスク端末から印刷データの要求が来るときに、既にPコードもキオスク端末から来ているため、そのPコードをここでは取得する。

【0199】更に、Candidate制御部100は、広告設定(広告の出力形式)を取得する(ステップS1702)。なお、本実施の形態における情報プリントアウトスでは、ユーザがキオスク端末110で(図31の画面で)広告の出力形式を選択することができるので、キオスク端末から送られてきた出力形式を取得する。また、情報提供者130がCandidate制御部100にPコードを発番してもらう際に、広告掲載可否条件を指定している場合には、そのPコードに関するIP情報登録テーブル(図46の1601)の情報の基本グローバルに広告掲載可否条件が記憶されているので、その条件をもとに広告の出力形式を決定する。

【0200】つぎに、ステップS1701で取得したPコードに対応する情報データをデータベースから取得する(ステップS1703)。そして、ステップS1702で取得した広告の出力形式から広告付きの印刷データを生成するか否かを判定する(ステップS1704)。

【0201】広告付きの印刷データを生成する場合(ステップS1704-Yes)には、用紙サイズ決定処理(ステップS1705)、レイアウト決定処理(ステップS1706)、広告サイズ決定処理(ステップS1707)、広告の検索処理(ステップS1708)を順に行う。また、広告なしの印刷データを生成する場合(ステップS1704-No)には、用紙サイズ決定処理(ステップS1709)、レイアウト決定処理(ステップS1710)を順に行う。

【0202】以下、それぞれの処理について説明する。【0203】＜用紙サイズ決定処理＞図18は、用紙サイズ決定処理をするときのCandidate制御部100の動作を示すフローチャートである。まず、サービスエリアを確認して、サービスエリアのプリントサービスでないかどうかを判定する(ステップS1801)。メールプ

ントサービスでなければ(ステップS1801-N)、図18のフローチャートにしたがって処理を開始する。また、メールプリントサービスであれば(ステップS1801-N)、図19のフローチャートに従って処理を開始する。

【0204】ステップS1802では、まずは、用紙サイズを基本用紙サイズとする。基本用紙サイズは、ユーザがCandidate制御部100へ登録申請している場合には、図63の登録画面で指定した用紙サイズ、ユーザがキオスク端末で図37のような画面で用紙サイズを指定できる場合には、その画面で指定された用紙サイズを基本用紙サイズとする。また、ユーザがいずれの場合でも指定していない場合には、A4とする。なお、用紙サイズを決定するのに必要な情報は、ユーザがCandidate制御部100へ登録申請している場合には、ユーザの指定に依って図45の4502のようなテーブル形式で記憶されていない場合には、図45の4503のようになっている。

【0205】次に、最初の情報データの情報サイズを取得する(ステップS1803)。ここでいう、情報サイズとは情報データのデータ量ではなく、プリントアウトされるときの紙面におけるサイズである。なお、本実施の形態では、情報提供者130が情報データをCandidate制御部100へ登録する際に、その情報データがプリントアウトされるときの設定が図45の4501のようなテーブル形式で記憶される。

【0206】次に、図45の4502或いは4503の優先フランクに従って、見易さ優先で印刷データを生成するか、頁数優先で印刷データを生成かを判定する(ステップS1804)。見易さ優先であれば(ステップS1804-N)、仮用紙サイズ=情報サイズ×縮小限界値とする(ステップS1805)。また、頁数優先であれば(ステップS1804-Yes)、仮用紙サイズ=情報サイズとする(ステップS1809)。

【0207】そして、ステップS1805或いはS1809で求められた仮用紙サイズが用紙サイズより大きいかを判定する(ステップS1806)。仮用紙サイズが用紙サイズより大きければ(ステップS1806-Yes)、用紙サイズ=仮用紙サイズを縮たす最小の用紙サイズとする(ステップS1810)。また、仮用紙サイズが用紙サイズより大きくなければ、正確には仮用紙サイズと用紙サイズが同じであるとき、用紙サイズ=仮用紙サイズとする(ステップS1807)。

【0208】一旦、用紙サイズが決定されると、次の情報データがあるかどうかを判定する(ステップS1808)。次の情報データがあれば(ステップS1808-Yes)、その情報データの情報サイズを取得して(ステップS1811)、ステップS1804に戻る。次の情報データがなければ(ステップS1808-No)、

現時点での用紙サイズと標準広告比率とから、最終的な用紙サイズを決定して、この処理を終了する。

【0209】また、サービスエリアのプリントサービスの場合には、図19のフローチャートに従って処理を行う。ステップS1901では、まずは、用紙サイズを基本用紙サイズとする。基本用紙サイズは、ユーザがCandidate制御部100へ登録申請している場合には、図63の登録画面で指定した用紙サイズ、ユーザがキオスク端末で図37のような画面で用紙サイズを指定できる場合には、その画面で指定された用紙サイズを基本用紙サイズとする。また、ユーザがいずれの場合でも指定していない場合には、A4とする。なお、用紙サイズを決定するのに必要な情報は、ユーザがCandidate制御部100へ登録申請している場合には、ユーザの指定に依って図5の4502のようなテーブル形式で記憶されており、ユーザがCandidate制御部100へ登録申請していない場合には、図45の4503のようになっている。

【0210】次に、最初のメールに関する情報を取得する(ステップS1902)。ここでいう、このメールに関する情報には、メールに添付の画像ファイルがあるかどうか、ある場合にはその画像ファイルのサイズが含まれている。

【0211】次に、メールに添付の画像ファイルがあるかどうかを判定する(ステップS1903) 画像ファイルが添付されている場合(ステップS1903-No)には、仮用紙サイズを0×0とする(ステップS1907)。画像ファイルが添付されている場合(ステップS1903-Yes)には、ステップS1904に移る。

【0212】ステップS1904では、図45の4502或いは4503の優先フランクに従って、見易さ優先で印刷データを生成するか、頁数優先で印刷データを生成するかを判定する。見易さ優先であれば(ステップS1904-N)、仮用紙サイズ=画像ファイルのサイズ×縮小限界値とする(ステップS1905)。また、頁数優先であれば(ステップS1904-Yes)、仮用紙サイズ=画像ファイルのサイズとする(ステップS1906)。

【0213】そして、ステップS1905、S1906或いはS1907で求められた仮用紙サイズが用紙サイズより大きいかを判定する(ステップS1908)。仮用紙サイズが用紙サイズより大きければ(ステップS1908-Yes)、用紙サイズ=仮用紙サイズを縮たす最小の用紙サイズとする(ステップS1910)。また、仮用紙サイズが用紙サイズよりおきくなければ、正確には用紙サイズが用紙サイズと同じであれば、用紙サイズ=仮用紙サイズとする(ステップS1909)。

【0214】一旦、用紙サイズが決定されると、次のメールがあるかどうかを判定する(ステップS1911)。次のメールがあれば(ステップS1908-Y

8)、そのメールに関する情報を取得して(ステップS1912)、ステップS1913に戻る。次のメールがなければ(ステップS1911-N)、現時点での用紙サイズと広告比率とから、最終的な用紙サイズを決定して、この処理を終了する。なお、本実施の形態では、広告比率は、図45の4502或いは4503の広告の量の情報と同一にする。

【0215】<レイアウト決定処理>次にレイアウト決定処理について説明する。図20は、レイアウト決定処理するときのCanDiNet制御部100の動作を示すフローチャートである。まず、CanDiNet制御部100は、広告領域を確保すべく、広告領域確保処理をおこなう(ステップS2001)。

【0216】図80は、広告領域確保処理するときのCanDiNet制御部100の動作を示すフローチャートである。まず、広告の量の比率を決定する(ステップS8001)。本実施の形態では、広告比率は、図45の4502或いは4503の広告の量の情報と同一にする。ただし、図31の入力画面で、ユーザが、記事の空いたスペースに印刷をしないを選択した場合で、①広告を裏面に印刷する。②広告をもう一枚別に印刷するのいずれか或いは両方を選択した場合には、ここの広告比率は0とする。ただし、①が選択されている場合には裏面に広告領域を設けること、②が選択されている場合にはもう一枚に広告領域を設けることを記憶しておく。

【0217】次に、全てのサービスで所定のレイアウトを用いるか、サービス毎に異なるレイアウトを用いるかを判定する。これは、CanDiNet制御部100が広告サービスをどのように提供するかに応じて決定する。

【0218】全てのサービスで所定のレイアウトを用いる場合には、所定のレイアウトで広告領域を確保する。このとき、広告領域の大きさは広告の量の比率に按ずる。本実施の形態では、図79の7902を所定のレイアウトとする。

【0219】また、サービス毎に異なるレイアウトを用いる場合には、サービスタイプに応じてそれぞれのサービス用のレイアウトで広告領域を確保する。このときも、広告領域の大きさは広告の量の比率に按ずる。本実施の形態では、図79の7901或いは7902をモデル用紙サービス用レイアウトとし、図79の7903をメール用紙サービス用レイアウトとし、図79の7904を情報登録サービス(データ預けサービス)用レイアウトとする。

【0220】図20のフローチャートでは、7902のレイアウトを用いることとする。図20のステップS2001が終了すると、図45の4502或いは4503の最終フラグに達すると、見込み優先で印刷データを生成するか、頁数優先で印刷データを生成するかを判定する。

【0221】見込み優先で印刷データを生成する場合

(ステップS2002-Yes)には、まず、最初の情報データの情報サイズを取得する(ステップS2003)。そして、紙面の左側に合わせて情報データを置き(図20の①)、その情報データの置き場として情報サイズ分を確保する(ステップS2004)。

【0222】更に、次の情報データがあるかどうかを判定して(ステップS2005)、次の情報データがあれば(ステップS2005-Yes)、その情報データの情報サイズを取得する(ステップS2006)。そして、その情報データを最初の情報データの下のに合わせて置き(図20の②)、その情報データの置き場として情報サイズ分を確保する(ステップS2004)。以上を、次の情報データがなくなるまで繰り返す。なお、ステップS2004で、情報データを置き、その情報データの置き場として情報サイズ分を確保しようとしたが、その情報データの領域が用紙サイズをはみ出してしまった場合や、広告領域に入ってしまった場合には、次のページにレイアウトする。

【0223】頁数優先で印刷データを生成する場合(ステップS2002-No)には、まず、最初の情報データの情報サイズを取得する(ステップS2007)。そして、その情報サイズに縮小限界値をかける(ステップS2008)。このとき、情報データにテキストと画像が含まれており、かつ、図75の登録画面で「サイズ変更してもよい」がチェックされている場合には、テキストと画像それぞれに対して変更可能範囲で縮小限界値をかける。そして、紙面の左側に合わせて情報データを置き(図20の①)、その情報データの置き場として(情報サイズ×縮小限界値)分を確保する(ステップS2009)。

【0224】更に、次の情報データがあるかどうかを判定して(ステップS2010)、次の情報データがあれば(ステップS2010-Yes)、その情報データの情報サイズを取得する(ステップS2011)。そして、その情報データを最初の情報データの下のに合わせて置き(図20の②)、その情報データの置き場として(情報サイズ×縮小限界値)分を確保する(ステップS2008)。以上を、次の情報データがなくなるまで繰り返す。

【0225】次の情報データが無くなると(ステップS2010-No)、情報データが置かれている領域を、用紙サイズをはみ出さず、かつ、広告領域に入らないまで拡大して(ステップS2012)、できるだけ情報データが大きくなるようにする。

【0226】なお、ステップS2009で、情報データを置き、その情報データの置き場として情報サイズ分を確保しようとしたが、その情報データの領域が用紙サイズをはみ出してしまった場合や、広告領域に入ってしまった場合には、次のページにレイアウトする。

【0227】<広告領域の決定処理>次に、広告領域の

決定処理について説明する。図21は、広告領域の決定処理するときのCanDiNet制御部100の動作を示すフローチャートである。

【0228】まず、広告領域 = キオス端末の印刷部による印刷領域 - 情報データ領域とする(ステップS2101)。

【0229】そして、変数「広告サイズ」を用意し、始めは広告サイズを最大の広告のサイズとする(ステップS8302)。本実施の形態では、広告のサイズは予め規定されており、複数種類のサイズに規定されている。広告主は、広告を登録するときに規定されているサイズのの中から選択するようになっている。

【0230】そして、その広告サイズが広告領域に入るかを判定する(ステップS2103)。入る場合(ステップS2103-Yes)には、その広告サイズの広告領域を確保し(ステップS2104)、広告領域=確保後の残りの広告領域とする(ステップS2105)。

【0231】広告領域に入らない場合(ステップS2103-No)には、既に広告サイズが最小の広告のサイズであるかを判定する(ステップS2106)。より小さい広告のサイズがある場合(ステップS2106-No)には、広告サイズ = 次に大きい広告のサイズとし(ステップS2107)、ステップS2103に戻る。これ以上小さい広告のサイズがない場合(ステップS2106-Yes)には、この処理を終了する。なお、ステップS2104では、確保された広告サイズと確保された箇所それぞれを記憶しておく。

【0232】また、裏面や別紙に広告を印刷する場合の広告領域の決定処理について説明する。図83乃至85は、広告領域の決定処理するときのCanDiNet制御部100の動作を示すフローチャートである。

【0233】まず、広告領域 = キオス端末の印刷部による印刷領域 - 情報データ領域とする(ステップS8301)。

【0234】そして、変数「広告サイズ」を用意し、始めは広告サイズを最大の広告のサイズとする(ステップS8302)。本実施の形態では、広告のサイズは予め規定されており、複数種類のサイズに規定されている。広告主は、広告を登録するときに規定されているサイズのの中から選択するようになっている。

【0235】そして、その広告サイズが広告領域に入るかを判定する(ステップS8303)。入る場合(ステップS8303-Yes)には、その広告サイズで広告領域を確保し(ステップS8304)、広告領域 = 確保後の残りの広告領域とする(ステップS8305)。

【0236】広告領域に入らない場合(ステップS8303-No)には、既に広告サイズが最小の広告のサイズであるかを判定する(ステップS8306)。まだより小さい広告のサイズがある場合(ステップS8306

-No)には、広告サイズ = 次に大きい広告のサイズとし(ステップS8307)、ステップS8303に戻る。これ以上小さい広告のサイズがない場合(ステップS8306-Yes)には、図84のステップS84に進む。

【0237】図84のフローチャートでは、裏面に広告領域が確保されている場合に、その広告領域の決定処理を行なう。そのため、まず、裏面に広告領域が確保されているかどうかを判定する(ステップS8401)。この判定は、図80のステップS8001で、裏面に広告領域を設けることを記憶したかどうかを調べることでより行われる。

【0238】裏面に広告領域が確保されている場合には、広告領域 = キオス端末の印刷部による印刷領域とする(ステップS8402)。以下、ステップS8403乃至S8408は、図83のステップS8303乃至S8308と同様であるため、説明を省略する。なお、ステップS8407において、これ以上小さい広告のサイズがない場合には、図85のステップS8501に進む。

【0239】図85のフローチャートでは、別紙に広告領域が確保されている場合に、その広告領域の決定処理を行なう。そのため、まず、別紙に広告領域が確保されているかどうかを判定する(ステップS8501)。この判定は、図80のステップS8001で、別紙に広告領域を設けることを記憶したかどうかを調べることでより行われる。

【0240】別紙に広告領域が確保されている場合には、広告領域 = キオス端末の印刷部による印刷領域とする(ステップS8502)。以下、ステップS8403乃至S8408は、図83のステップS8303乃至S8308と同様であるため、説明を省略する。なお、ステップS8407において、これ以上小さい広告のサイズがない場合には、広告領域の決定処理を終了する。なお、ステップS8304、S8404、S8504では、確保された広告サイズと確保された箇所それぞれを記憶しておく。

【0241】図54では、広告1、広告2、広告3、広告4がそれぞれ順に広告領域に確保される。ここで、広告1のサイズは10×20、広告2のサイズは10×10、広告3のサイズは5×10、広告4のサイズは5×10である。

【0242】<広告の登録>本実施の形態では、広告主が広告掲載を希望する場合には、CanDiNet制御部100へ登録申請を行う。このとき、広告主は、ネットワークを介してCanDiNet制御部100へアクセスし、図64〜70に示すような登録画面から登録に必要な情報を入力する。

【0243】図64の登録画面では、広告主は、氏名や連絡先を入力する。既に登録申請を行っている場合に

は、登録変更のためのパスワードを入力することもある。図65の登録画面では、広告掲載のための画像データやキーストデータ（以下、広告データという）を指定する。すると、その広告データがCandNot印刷部1000へ転送される。

【0244】図66の登録画面では、広告主が、広告掲載を開始する日、広告掲載の有効期限を指定する。広告掲載の開始日から有効期限が経過すると、広告データは広告掲載に使われない。また、図67の登録画面では、その広告データがプリントアウトされる地域を指定することができ。

【0245】更に、図68の登録画面では、広告主は、広告データが印刷される際の広告サイズを予め規定されているの中から選択したり、広告サイズの変更可否条件を選択することができる。

【0246】更に、図69の登録画面では、全面広告、トップ掲載広告、裏面広告の指定をすることができる。また、図70の登録画面では、広告が掲載されて印刷される回数の制限、広告料金の制限を指定することができる。

【0247】広告主による図64～70の登録画面での登録操作が終了すると、CandNot印刷部1000はこの広告データに対してPコードを発行する。それとともに、登録画面で入力された情報に基づいてそのPコードに関する広告情報テーブルを作成し、PコードDBへ記憶する。

【0248】図47の4701は、広告情報テーブルの一例である。最左列にはPコードが記憶される。更に、このテーブルには、Pコードに対応する広告のプロパティ、広告データのファイル情報などが記憶される。

【0249】＜広告検索処理＞以下に、図17のステップS1711における広告検索処理について説明する。

図22は、広告検索処理をするときのCandNot印刷部1000の動作を示すフローチャートである。まず、掲載する広告を検索するためのキーワードリストを作成する（ステップS2201）。ここで、キーワードリストは、サーチエンジンに応じて、プリントアウトされる情報データのPコードに関する（P情報登録テーブル（図46の4601）の情報の基本プロパティに記憶されているキーワードリストから、或いはユーザが有しているPコードに関するユーザ情報テーブル（図48の4801）のユーザプロファイルから、或いはプリソクタクトをしようとしているキオスク端末に関する端末情報テーブル（図52）から作成される。

【0250】図57の5701は、記事（情報データ）に対応するPコードに関する（P情報登録テーブルから作成されたキーワードリストの一例である。キーワードリストには、キーワードとそのキーワードの重みが組になってリスト化されている。

【0251】また、図57の5702は、端末情報デー

ブルから作成されたキーワードリストの一例である。このキオスク端末は東京の渋谷に置かれているために、キーワードは「渋谷」と「東京」になっている。

【0252】次に、最優先キーワードリストと最下位キーワードリストを作成する。これは、最優先キーワードリストとは、地域限定や時期限定で特定の広告群を優先的に掲載したいときに作成される。また、最下位キーワードリストは、ステップS2202でキーワードリストが作成されなかった場合に作成される。

【0253】以上の複数のキーワードリストは、図57の5703のように、キーワードリストの優先度順に並べられる。そして、まず、優先度が最も高いキーワードリストを特定する（ステップS2203）。

【0254】そして、特定されたキーワードリスト内のキーワードを検索キーにして、広告データを検索する（ステップS2204）。検出された広告データのPコード（広告ID）は検索結果リストに入る（ステップS2205）。そして、特定されたキーワードリスト内の全てのキーワードを検索キーにして検索を行ったかを判定して（ステップS2206）、全てのキーワードを検索キーにして検索を行った場合（ステップS2206-Yes）には、ステップS2207に移り、また検索キーにしないキーワードがある場合（ステップS2206-No）には、ステップS2204に戻る。

【0255】ステップS2207では、検索結果リスト内に広告Pコードがある広告データについて、合致度を求める。合致度は、その広告データを検出したキーワードの重みとそのキーワードが属しているキーワードリストの優先度を掛け合わせて求める。また、広告Pコードに関する広告のプロパティに記憶されている、有効期限、印刷回数、上限金額、上限印刷回数、単価等などから合致度を求めて求めて、先程の合致度に加算してもよい。また、広告のプロパティの掲載位置の設定、サイズ調整法、横置き縦置きなどをもとに、自由度の高いものを高く評価して合致度を求めて求めて、先ほどの合致度に加算してもよい。

【0256】全ての合致度を求めた後は、合致度で検索結果リストの中の広告Pコードをソートする。図57の5704は、最終的な検索結果リストの一例である。

【0257】1つのキーワードリストについて以上の処理を行った後は、他にキーワードリストがあるかどうかを判定する（ステップS2209）。他にキーワードリストがある場合（ステップS2209-Yes）には、次に優先度が高いキーワードリストを特定して（ステップS2210）、ステップS2204に戻る。

【0258】＜印刷データの生成＞最後に、図17のステップS1711の印刷データ（プリントデータ）の生成について説明する。ここでは、ステップS1707の広告サイズの決定処理で記憶された記憶された広告サイズ及び確保された箇所、ステップS1708の広告検索

処理で作成された検索結果リストから掲載する広告データを選定して、印刷データを生成する。

【0259】CandNot印刷部1000は、掲載する広告データを、検索結果リストの合致度が高い広告Pコードから順に、そのPコードに関する広告情報テーブルに記憶されている広告サイズが広告サイズ決定処理で決定された広告サイズに合致するかどうか判定して選定する。このとき、広告サイズだけでなく、調整方法でサイズが調整可能であるかも考慮する。

【0260】更に、選定された広告データの中にトップ掲載広告が指定されているものがあれば、レイアウト替えも行う。例えば、図54の広告3にトップ掲載広告が指定された広告データが選定された場合には、図55のようにレイアウト替えを行う。

【0261】図56は、生成された印刷データがプリントアウトされたときの一例である。

【0262】なお、図17のステップS1702で広告の出力形式を決定した結果、広告を裏面に或いは裏面にも印刷する場合には、まず、レイアウト決定処理（図17のステップS1706）で決定されたレイアウトで情報データを出力するための印刷データを生成し、次に、選定された広告データを裏面に出力するための印刷データを生成する。

【0263】また、図17のステップS1702で広告の出力形式を決定した結果、広告をもう一枚別に印刷する場合にも、まず、レイアウト決定処理（図17のステップS1706）で決定されたレイアウトで情報データを出力するための印刷データを生成し、次に、改ページして、選定された広告データを新たな改ページに出力するための印刷データを生成する。

【0264】【発明の効果】以上、詳述したように本発明により、ネットワークにおける情報登録・取得方法およびシステム並びに情報の登録・取得とプリント処理が出来る端末を含む情報処理方法及び出力制御方法及び装置及びシステムを提供することが可能となった。

【0265】或いは、利用者の情報取得コストを軽減するためのコストを負担してくれるスポンサー広告などを最速に付加することができる情報処理方法及び出力制御方法及び装置及びシステムを提供することが可能となった。

【0266】或いは、携帯端末に送付された電子メール情報について表示しきれない、読みづらいからプリントして読みたい、プリントに残しておきたい、または携帯端末をもたないユーザが通常の電子メールを外出先で情報にコードを割り付けて、コードによって取得できる情報処理方法及び出力制御方法及び装置及びシステムを提供することが可能となる。

【0267】或いは、個別の情報をコードによって取得

するだけでなくユーザの好みの情報を選択・収集・統合した形でユーザ固有のコードに割り付けて、コードによって取得できる情報処理方法及び出力制御方法及び装置及びシステムを提供することができる。

【0268】或いは、ユーザは、ユーザの所有する情報を一時的に預けるがごとく端末より入力し、割り付けられたコードを取得し、コードを照射している者が任意の場所と場所での入力した情報をコードによって引き出すことのできる情報処理方法及び出力制御方法及び装置及びシステムとしても提供できる。

【0269】或いは、制御コンピュータを備供することにより入力コードを短くでき、U/Iを単純化できる。補助的な情報はQRを用いて対話的にユーザ入を促した方が無機質なコードよりユーザにわかりやすい。

【0270】或いは、印刷物に広告を入れることによって、ユーザが支払う料金が可変に安くなるため利用しやすくなる。

【0271】或いは、印刷される文字、イメージの拡大、縮小許容範囲を設定できる印刷物としての品位を損なわない範囲で縮小することができるようになる。

【0272】上限或いは下限を付けてその間は印刷料に応じた課金。従量制にすることによって、解決される。或いは上限を設定することによって無制限に契約料金を払わなければならないことがなくなる。

【0273】また、広告によって、可変となる印刷代金について、情報の印刷と共に、バーコードを印刷し、それを読み込むことによって料金が迅速にレジ等ですっきり、料金の間違いもなくなくなる。

【0274】また、広告を裏面に広告を印刷することによって、簡単なレイアウト規則でも紙面が有効に使え、表示とは異なり、情報のレイアウトに影響を与えずに、広告を出すことができ、また、紙であれば必要に、誰も見えるので広告の価値もそれほど下がらない。また、紙面全体を使用するような大きな広告を作れるようになる。

【0275】種々の情報を店頭で選択するといった作業を全部プリントという指示ができるようにしておくことにより、面倒な手間が省け、簡単な作業で出力しようとしている情報を印刷することができる。

【0276】コンビニ等の店頭において、情報アクセス端末を設置し、そこから安価（広告を付ける事によって無料）で印刷することができるようになると、携帯端末で、簡易な情報を取得し、詳細を紙で手にすることができるようになる。そのことによって情報アクセスの利便性が飛躍的に良くなった。また、コンビニ等に人が集まることにより、コンビニでの販促の促進にもなる。

【0277】Personal P-Codeシステムの特、レイアウト等のFrame登録によって、毎日簡単な手順でユーザが必要とする情報を取得することができるようになる。

【0278】以上所述したように本発明により、出力すべき出力情報に対する第1価値情報を配する第1配信手段と、前記出力情報に付加される付加情報に対する価値を示す、第2価値情報配する第2配信手段とからの情報の組み出しを制御する組み出し制御機能と、前記出力情報に付加される前記付加情報に基づいて、前記第1及び第2配信手段から組み出される前記第1及び第2価値情報に基づいて、前記出力情報の出力の対面を決定する決定機能とを有した情報処理方法はいは数値を提供することが可能となった。

【0279】以上詳述したように本発明により、出力情報の出力属性を示す出力属性情報を配する配信機能と、前記配信される出力属性情報を前記出力情報に対応するコード情報と関連付けて、外部装置に伝送する伝送機能と、前記伝送機能によって転送される前記コード情報及び前記出力属性情報に基づいて得られる前記出力情報の価値を算する第1価値情報と、前記出力情報に付加される付加情報に対する価値を示す、第2価値情報に基づいて決定される前記出力情報の出力の対面を示す情報を受信する受信機能と、を有した出力制御装置及び方法を提供することが可能となった。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明の情報提供方法及び装置及びシステムの実施例を説明するための図である。
 【図2】本発明の実施形態を示すキオスク端末110とCandNet制御部100の構成ブロック図を示す図である。
 【図3】キオスク端末110の情報出力装置113情報出力部（プリンタ）の一例であるスキャナ付き、両面印刷機能を有するカラー出力部の断面図である。
 【図4】本図示であるが数値用の用紙を給紙可能であるインジェクション式の紙搬送図である。
 【図5】キオスク端末110の処理動作のメインフローチャートを示す図である。
 【図6】情報処理サービスを提供する場合のキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図7】印刷料金処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図8】印刷処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図9】決済処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図10】現金処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図11】その他のサービス処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図12】ペーショナル情報サービスを提供するときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図13】登録変更処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。

- 【図14】情報登録サービスを提供するときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図15】スキャナ処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図16】スキャナ処理をするときのキオスク端末110の動作を示すフローチャートである。
 【図17】広告付きの印刷データを生成するときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図18】用紙サイズ決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図19】メーブルプリントサービスにおける用紙サイズ決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図20】レイアウト決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図21】広告領域の決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図22】広告領域処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図23】キオスク端末の初期画面を示す図である。
 【図24】コード入力画面を示す図である。
 【図25】ペーショナル入力画面を示す図である。
 【図26】携帯電話からコードを入力するときの画面を示す図である。
 【図27】ペンデイスキャナでコードを入力するときの画面の画面を示す図である。
 【図28】決済処理画面を示す図である。
 【図29】リスト画面を示す図である。
 【図30】プレイビュー画面を示す図である。
 【図31】「広告の設定」の画面を示す図である。
 【図32】メーブルプリント画面を示す図である。
 【図33】メーブルのプリントアウトの仕方を選択するための画面を示す図である。
 【図34】登録プレイ画面を示す図である。
 【図35】変更登録画面を示す図である。
 【図36】プレイ番号に対応する登録プレイの内容を表示する画面を示す図である。
 【図37】プレイ画面用紙サイズはいは用紙方向を選択するための画面を示す図である。
 【図38】電話番号入力画面を示す図である。
 【図39】情報登録方法画面を示す図である。
 【図40】スキャナ入力指示の画面を示す図である。
 【図41】プレイビュー画面の一例を示す図である。
 【図42】プレイビュー設定画面を示す図である。
 【図43】有効期限入力画面を示す図である。
 【図44】預かった画像データに関する、コード、パスワード、データ量、有効期限、登録料金を表示する画面を示す図である。
 【図45】用紙サイズを決定するために必要な情報を示す図である。

- 【図46】1P情報登録データの一例を示す図である。
 【図47】広告情報データの一例を示す図である。
 【図48】ユーザ情報データの一例を示す図である。
 【図49】ペーショナルプレイサービス用のプレイデータの一列を示す図である。
 【図50】個人情報データの一例を示す図である。
 【図51】オーダー情報データの一例を示す図である。
 【図52】端末情報データの一例を示す図である。
 【図53】印刷データを生成するときのCandNet制御部100の動作を示す基本フローチャートである。
 【図54】広告データのレイアウトの一例を示す図である。
 【図55】レイアウト替えを行った後の広告データのレイアウトの一例を示す図である。
 【図56】生成された印刷データがプリントされたときの一例を示す図である。
 【図57】1P情報登録データから作成されたキートンリストの一例を示す図である。
 【図58】ユーザが氏名、連絡先等を入力するための登録画面を示す図である。
 【図59】ユーザ登録の内容を変更するために必要なプレイを入力するための登録画面を示す図である。
 【図60】登録してもらうプレイをどのサービスのために利用するかを指定するための登録画面を示す図である。
 【図61】ユーザの個人情報を入力するための登録画面を示す図である。
 【図62】ユーザが、興味のある情報がないであることをCandNet制御部100へ登録しておくための登録画面を示す図である。
 【図63】なにを優先で、どのレイアウトでプリントアウトを行うかを指定するための登録画面を示す図である。
 【図64】広告主が、氏名や連絡先を入力するための登録画面を示す図である。
 【図65】広告掲載のための画像データやテキストデータを指定するための登録画面を示す図である。
 【図66】広告主が、広告掲載を開始する日、広告掲載の有効期限を指定するための登録画面を示す図である。
 【図67】広告データがプリントアウトされる地域を指定するための登録画面を示す図である。
 【図68】広告主が、広告データが印刷されるときに広告サイズを予め規定されている中から選択したり、広告サイズの変更可否条件を選択するための登録画面を示す図である。

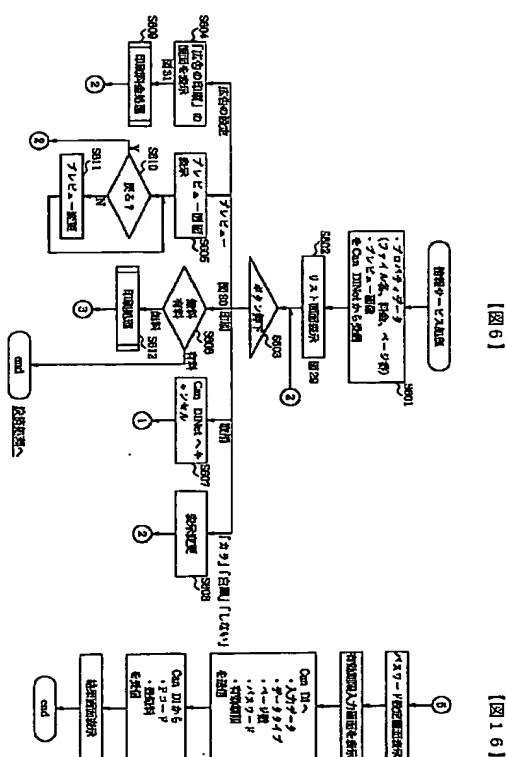
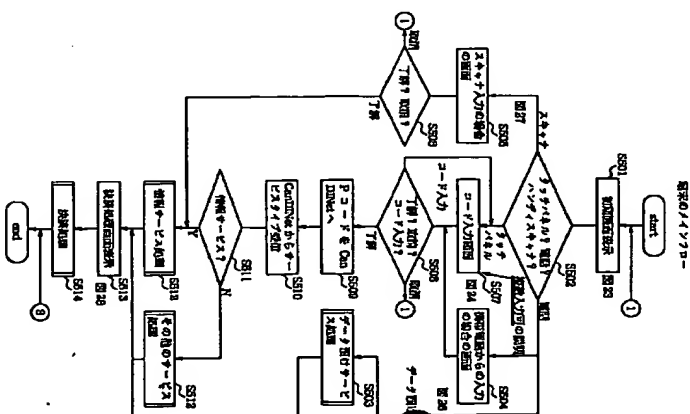
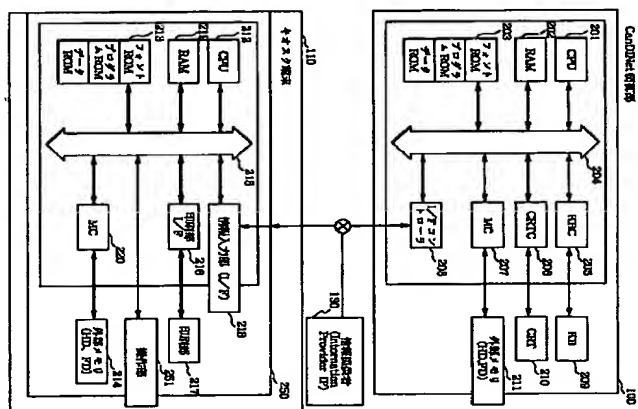
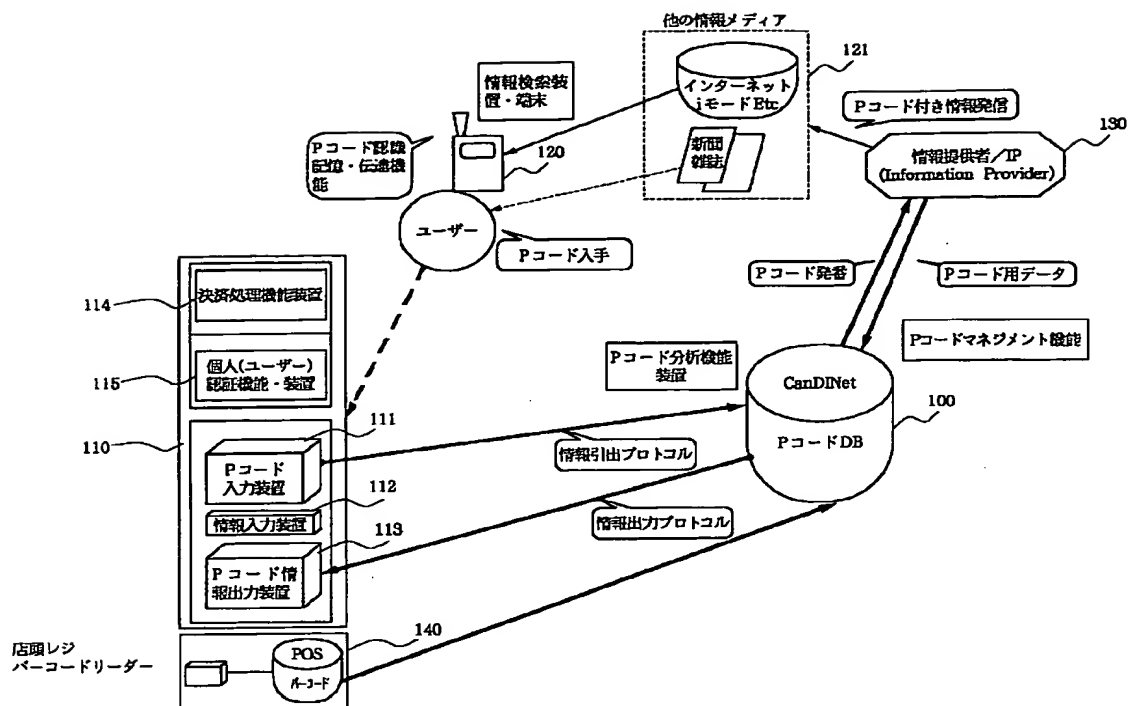
【図69】全面広告、トップ掲載広告、裏面広告の指定をするための登録画面を示す図である。
 【図70】広告が掲載されて印刷される回数の制限、広告料金の制限を指定するための登録画面を示す図である。

【図71】情報提供者の氏名や連絡先を入力するための登録画面を示す図である。
 【図72】情報提供のための画像データやテキストデータを指定するための登録画面を示す図である。
 【図73】画像データがキオスク端末からどのようにプリントアウトされるかを表すプレイビュー画面を示す図である。

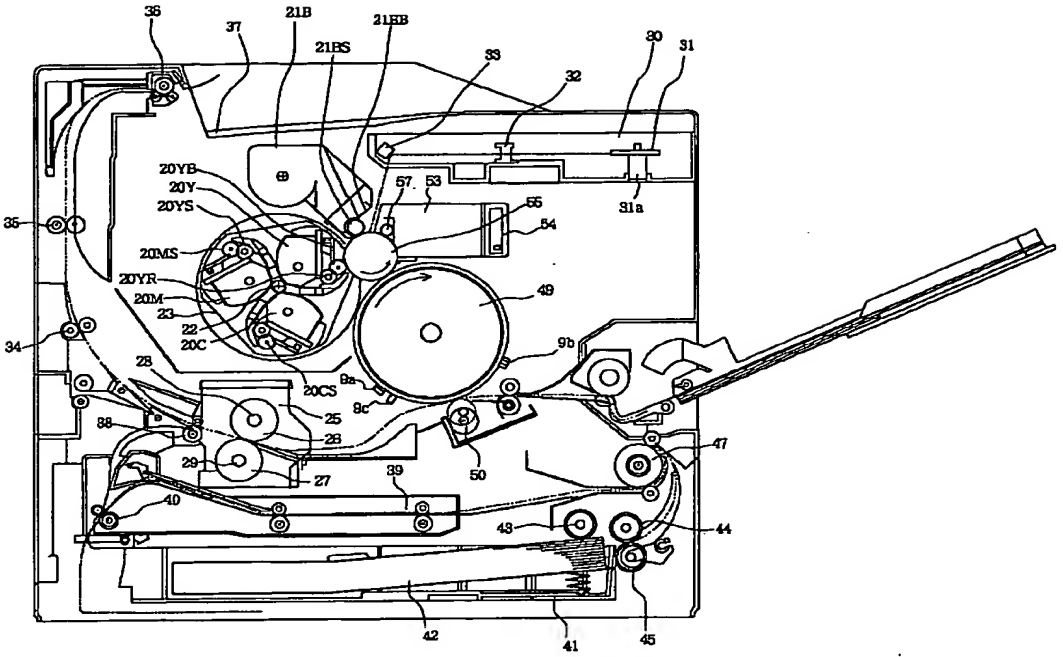
【図74】情報提供者が、情報提供を開始する日、情報提供の有効期限を指定するための登録画面を示す図である。
 【図75】情報提供者が情報データがプリントアウトされるときに文字サイズ、画像サイズを指定するための登録画面を示す図である。
 【図76】情報データがプリントアウトされるときに同じ紙面に広告が掲載されるのを許可するか否かを指定したり、情報データがプリントアウトされるためにプレイカードが必要であるか否かを指定するための登録画面を示す図である。
 【図77】料金を設定するための登録画面を示す図である。
 【図78】情報提供者が情報データでどのような情報提供を行うかを登録するための登録画面を示す図である。
 【図79】レイアウトの種類を示す図である。
 【図80】広告領域確保処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図81】登録プレイ画面を表示する際のCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図82】登録プレイ画面を表示する際のCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図83】裏面の広告領域の決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図84】裏面の広告領域の決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図85】別紙の広告領域の決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】
 110 キオスク端末
 100 CandNet制御部
 130 情報提供者
 251 操作パネル

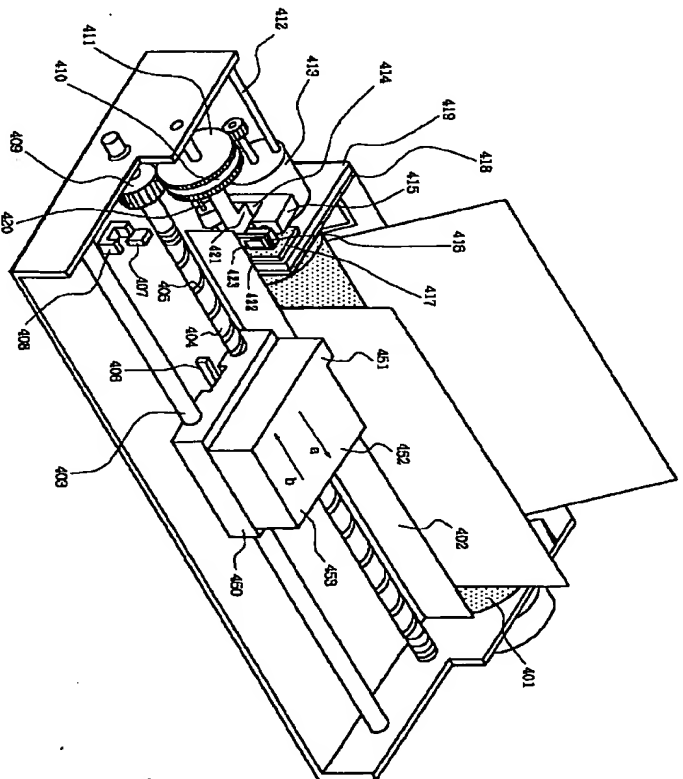
- 【図69】全面広告、トップ掲載広告、裏面広告の指定をするための登録画面を示す図である。
 【図70】広告が掲載されて印刷される回数の制限、広告料金の制限を指定するための登録画面を示す図である。
 【図71】情報提供者の氏名や連絡先を入力するための登録画面を示す図である。
 【図72】情報提供のための画像データやテキストデータを指定するための登録画面を示す図である。
 【図73】画像データがキオスク端末からどのようにプリントアウトされるかを表すプレイビュー画面を示す図である。
 【図74】情報提供者が、情報提供を開始する日、情報提供の有効期限を指定するための登録画面を示す図である。
 【図75】情報提供者が情報データがプリントアウトされるときに文字サイズ、画像サイズを指定するための登録画面を示す図である。
 【図76】情報データがプリントアウトされるときに同じ紙面に広告が掲載されるのを許可するか否かを指定したり、情報データがプリントアウトされるためにプレイカードが必要であるか否かを指定するための登録画面を示す図である。
 【図77】料金を設定するための登録画面を示す図である。
 【図78】情報提供者が情報データでどのような情報提供を行うかを登録するための登録画面を示す図である。
 【図79】レイアウトの種類を示す図である。
 【図80】広告領域確保処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図81】登録プレイ画面を表示する際のCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図82】登録プレイ画面を表示する際のCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図83】裏面の広告領域の決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図84】裏面の広告領域の決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。
 【図85】別紙の広告領域の決定処理をするときのCandNet制御部100の動作を示すフローチャートである。



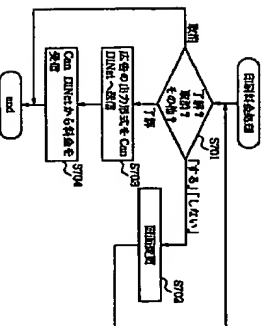
【図3】



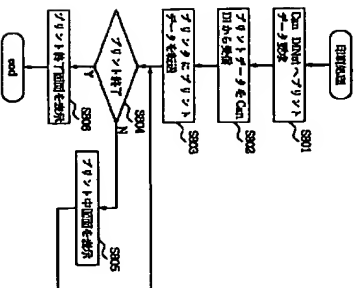
【図4】



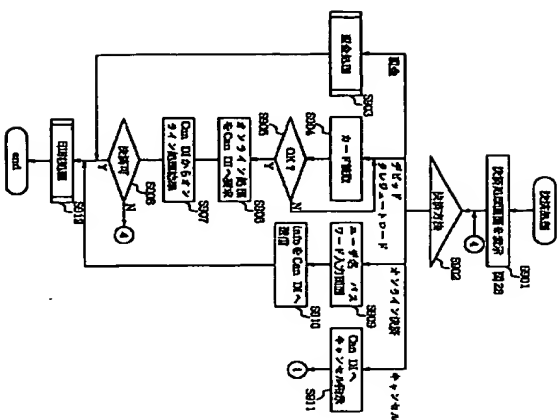
【図7】



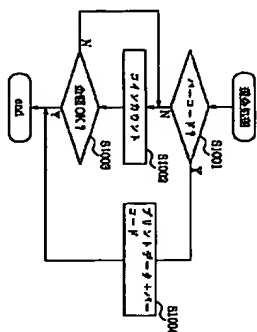
【図8】



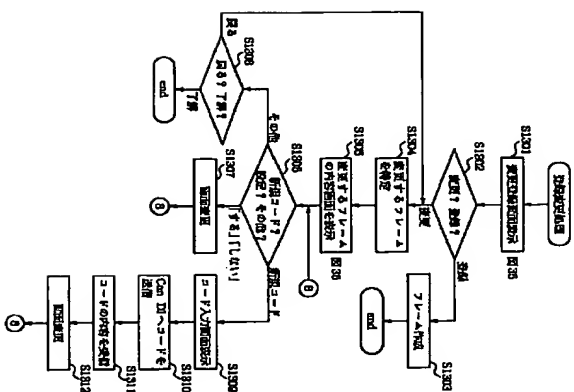
【図9】



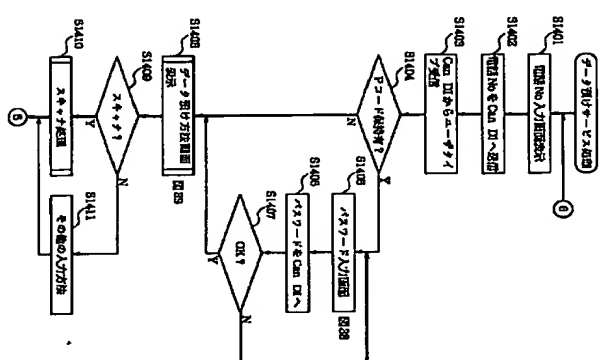
【図10】



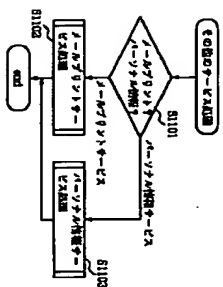
【図13】



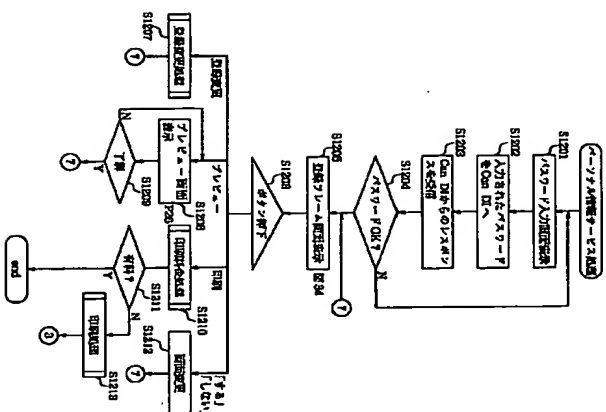
【図14】



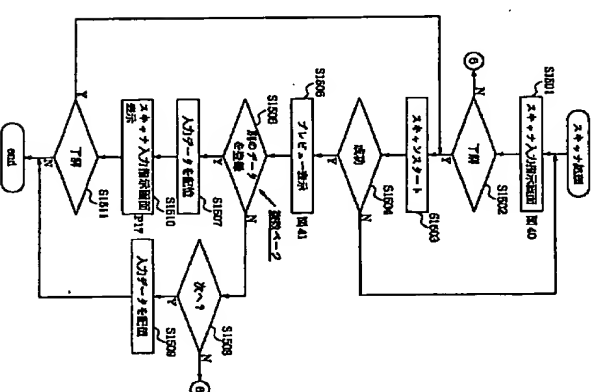
【図11】



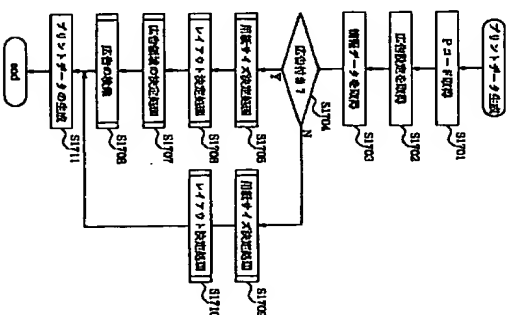
【図12】



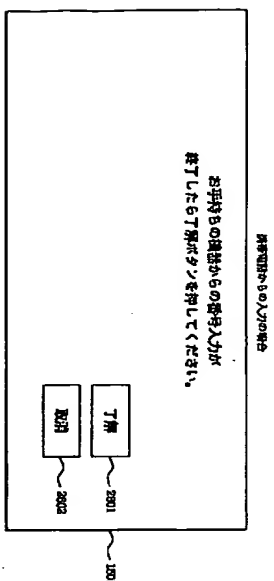
【図15】



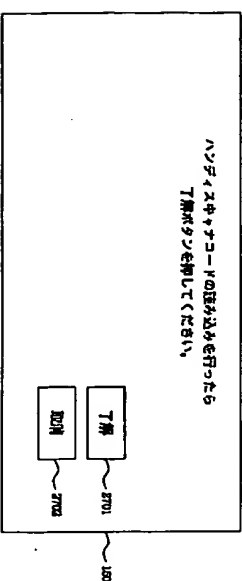
【図17】



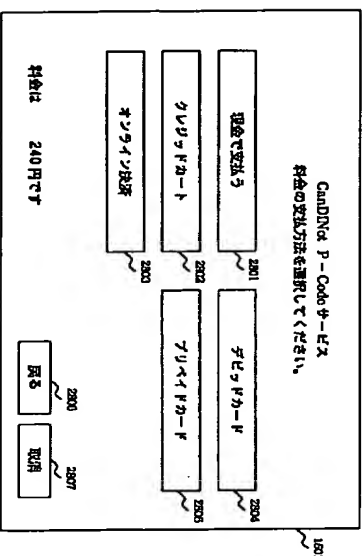
【図 26】



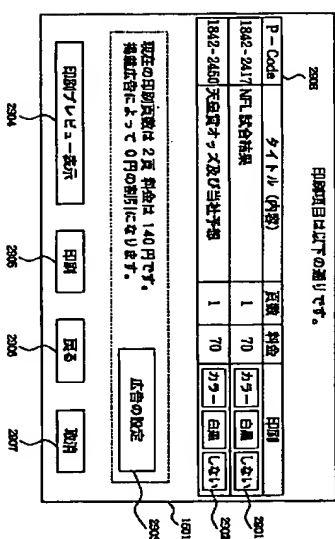
【図 27】



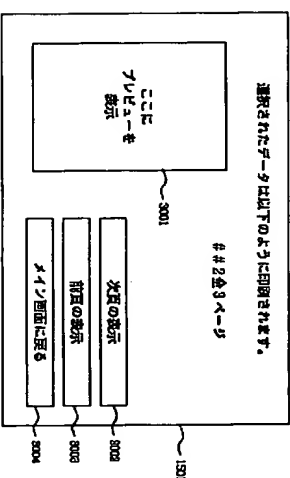
【図 28】



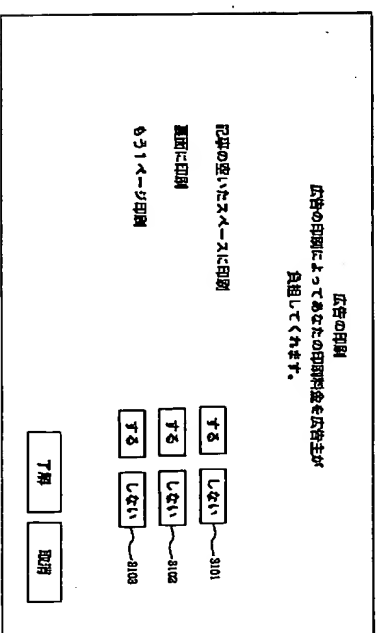
【図 29】



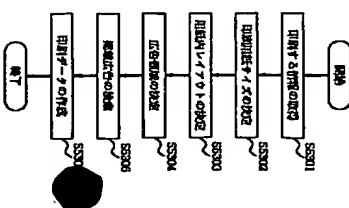
【図 30】



【図 31】



【図 53】



【図32】

メールボックスには以下のメールがあります。

全表示	印刷リストを表示	次のリストを表示
Subject (件名)	From (送信者)	頁数
#1 New year party	tsukuba@ase.com	1
#2 08 数々の通達送付の件	tsukuba@ase.com	2
#3 Re: ご存知ですか?	tsukuba@ase.com	1

選択メールは2通 現在の印刷頁数は3頁です

印刷プレビュー オプション設定 印刷 戻る 取消

【図33】

メールプレビュー印刷オプション
以下のオプションを選択できます。

メールは同じ紙に続けて印刷

できるだけ小さい文字で始めて印刷

する しない する しない

了解 取消

【図34】

印刷プレビューは以下の通りです。

Suffix	内容	頁数	印刷
#1	休業情報/明日の天気/西の空の雲の模様	1	する しない
#2	ソングCDラジコンソング/新曲情報	8	する しない
#3	大相撲結果/プロ野球今日の試合結果	1	する しない

選択メールは2通 現在の印刷頁数は3頁です

印刷プレビュー 印刷 戻る 取消

【図35】

設定するフレーム番号を入力してください。

新規フレームを選択

1 2 3 #2

4 5 6

7 8 9

0 #

了解 取消 F12

【図36】

印刷プレビューは以下の通りです。

P-Code	内容	頁数
0001-0003-2011	ソングCDラジコンソング	する しない
0002-0003-2002	ソングCDラジコンソング	する しない
0003-0003-2003	ソングCDラジコンソング	する しない

新規P-Codeの追加

了解 取消 戻る 取消

【図37】

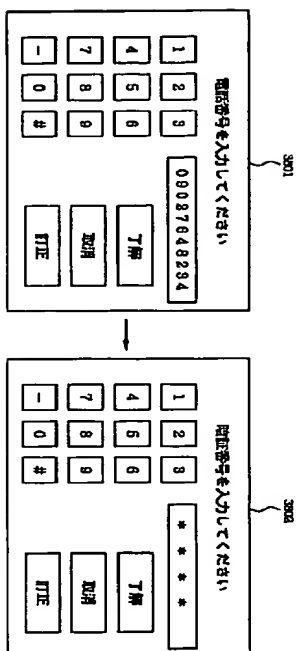
フレーム用紙サイズを選択してください。

A3 B4 A4

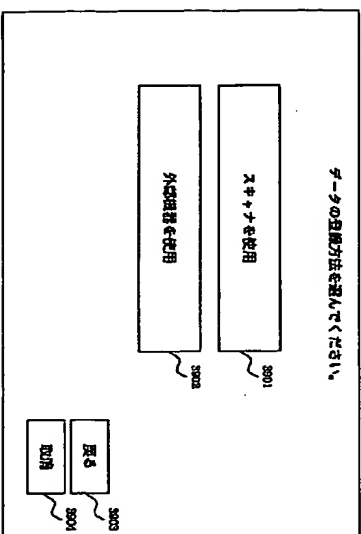
設定 解除

了解 取消 戻る 取消

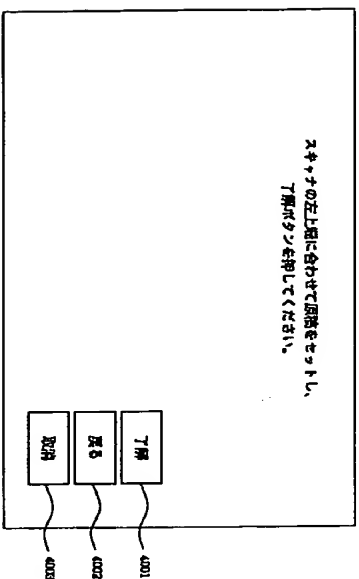
【図38】



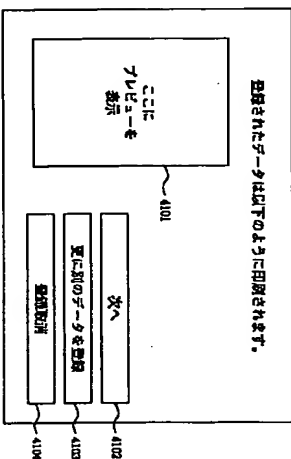
【図39】



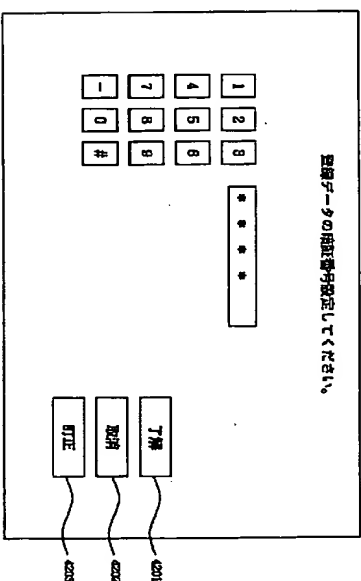
【図40】



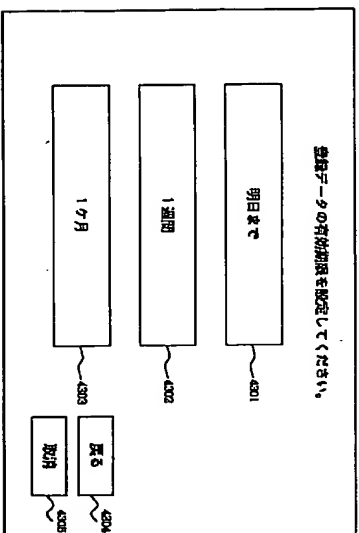
【図41】



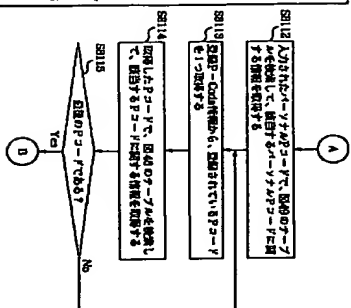
【図42】



【図43】



【図82】



【圖 47】

4701

広告情報テーブル

P - Code	広告のプロパティ	オーナー ID 図51	
		広告の掲載開始日 広告の期限 情報へのリンク情報 広告のサイズ 縦置き・横置き 広告のサイズ調整法 広告掲載位置の設定 上限金額 広告価格情報 (単価) 上限回数 現在の印刷回数☆	リンク方法の種類 ターゲットキーワードリスト ターゲットキーワードの重み
	リンク☆ 実体のファイル情報	P - Code ファイルの数 ファイル名 (ファイル数分のリスト)	

[59]

新規登録 - Microsoft Word 2003

ユーザーID: 新規登録会員

暗証番号 (P)

暗証番号 (確認用) (Q)

OK Cancel

新規登録の場合

ユーザIDと暗証番号

ユーザーID: 09082937251

現在の暗証番号 (C)

暗証番号 (D)

暗証番号 (確認用) (D)

OK Cancel

登録内容の変更の場合

(51)

[圖 48]

[illegible]

[図58]

CanDiNet 会員登録 住所入力

氏名 (A) 姓 名

氏名 (B) 姓 名

郵便番号 (C) -

住所 (D)

電話番号 (E) - -

FAX 番号 (F) - -

携帯電話番号 (G) - -

E-Mail Address (H)

OK Cancel

[図62]

CanDiNet 会員登録 住所入力

郵便番号 (C) -

住所 (D)

電話番号 (E) - -

FAX 番号 (F) - -

携帯電話番号 (G) - -

E-Mail Address (H)

OK Cancel

[図61]

CanDiNet 会員登録 住所入力

持ち家 (P) ☐ 一戸建て ☒ アパート/マンション ☐ 借家 ☐ 社宅/寮 ☐ 親族の持ち家

車等 (C) ☒ 自家用車 排気量 車種 ☐ 自動2輪 排気量 車種

ペット (P) ☐ ペットを飼っている 種類 ☒ 欲しいペット 種類

趣味 (H) ☒ 音楽鑑賞 良く聞くジャンル ☒ 映画鑑賞 良く見るジャンル ☒ スポーツ観戦 良く見るジャンル ☒ スポーツ 良くするジャンル ☐ つり 良く行く場所

OK Cancel

[図64]

CanDiNet 会員登録 住所入力

CanDiNet 広告登録会員でない方は広告提供者の連絡先を登録していただく必要があります。必要事項を御記入の上、「次へ」ボタンを押してください。

〒 (Z) -

住所 (A)

電話番号 (D) - -

氏名または会社名 (N)

E-Mail Address (E)

次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)

CanDiNet 会員登録 住所入力

誕生日 (B) 血液型 (L)

性別 (S) ☒ 男性 ☐ 女性

最終学歴 (G)

職業 (I) その他の場合 >>

既婚/独身 (M) ☒ 既婚 ☐ 独身 家族数 (A)

収入 (L) 貯蓄額 (F)

OK Cancel

CanDiNet 会員登録 住所入力

CanDiNet 広告登録会員ID CA INF 0023のパスワードを入力してください。

次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)

【図63】

登録したい広告の指定

☐ 見出し指定 ☐ オペレーション指定

☐ デザインレイアウトを指定する ☐ レイアウト1

詳細設定 (D)

デザイン用紙

用紙サイズ (S)

用紙方向 (L) ☐ 縦 ☐ 横

☒ 画面印刷を優先する (P)

OK Cancel

【図69】

広告掲載場所の制限

☐ 全面広告にしたい (D)

☐ 常にトップ掲載広告にしたい (D)

☒ 画面の広告にしたい (D)

次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)

【図71】

CanDataは情報提供会社であり、情報は提供者の連絡先を
お届けていただく必要があり、必要事項を記入の上、
「次へ」ボタンを押してください。

〒 (Z) -

住所 (A)

電話番号 (D) - -

氏名または会社名 (N)

E-Mail Address (E)

次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)

【図70】

お送りした広告の1回当たりの広告掲載料は20円になります。
広告料金は印刷枚数で換算されます。

広告料金の上限の指定:

☐ 最大印刷回数を指定する (U)

☐ 広告料金の上限を指定する (D)

最大 (M):

次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)

【図75】

現在登録使用している情報のサイズは以下の通りです。

テキスト 142文字

印刷画像 4×6cm

情報の全体領域 12×6cm

この情報はレイアウト用の?サイズを指定しますか

☐ 固定する (D)

☐ サイズを設定してもよい (A)

文字サイズは pt から pt まで

印刷画像は % から % まで

次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)

【図67】

地域指定時には以下の指定ができます。

☐ 都道府県、市町村で指定する (P)

☐ 印刷する店を指定する (S)

☐ 住所とそこからの距離で指定する (R)

☐ 地図で範囲を指定する (M)

詳細設定 (D)

次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)

広告を掲載するべき情報とのリンク方法を選択してください。

☐ 地域

年齢層

性別

キーワードを設定

情報を指定

詳細設定 (D)

次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)

【図68】

転送ファイルから読み出した広告のサイズは以下の通りです。

テキスト 142文字

印刷画像 4×6cm

広告の全体領域 12×6cm

登録する広告の印刷サイズを選択してください。 (S)

☐ 縦長に配置 (P)

☐ 横長に配置 (L)

にフィットさせる (A)

☐ 登録データのサイズは変更せず中央に印刷する (R)

次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)

転送ファイルから読み出した広告のサイズは以下の通りです。

テキスト 142文字

印刷画像 4×6cm

広告の全体領域 12×6cm

登録する広告の印刷サイズを選択してください。 (S)

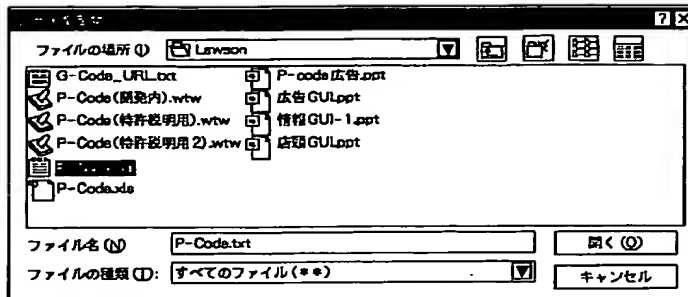
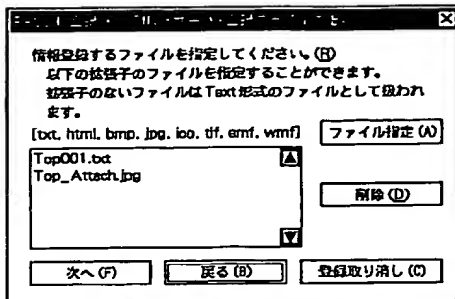
☐ 縦長に配置 (P)

☐ 横長に配置 (L)

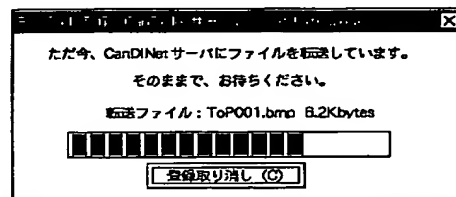
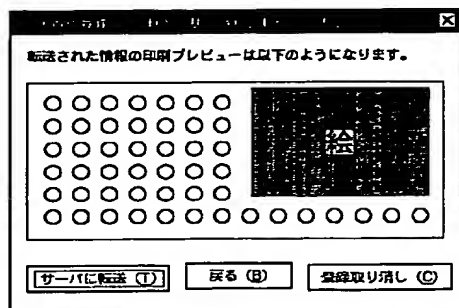
にフィットさせる (A)

☐ 登録データのサイズは変更せず中央に印刷する (R)

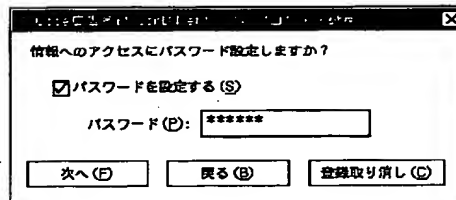
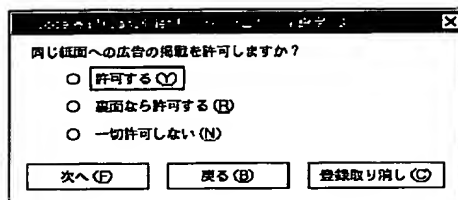
次へ (F) 戻る (B) 登録取り消し (C)



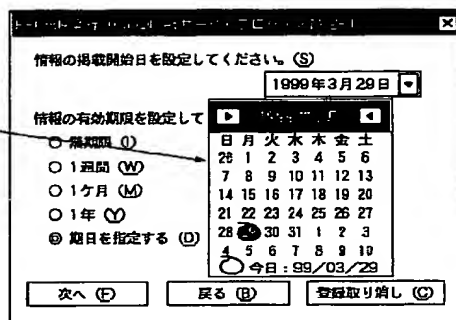
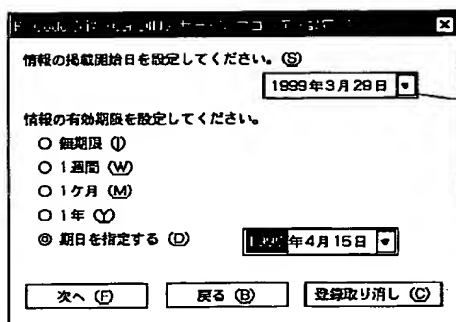
【図72】



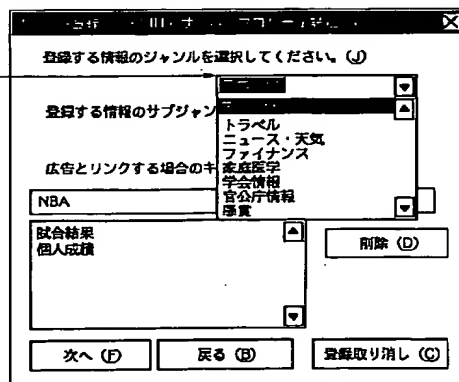
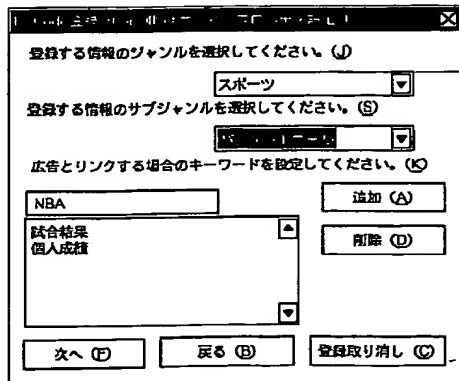
【図73】



【図76】

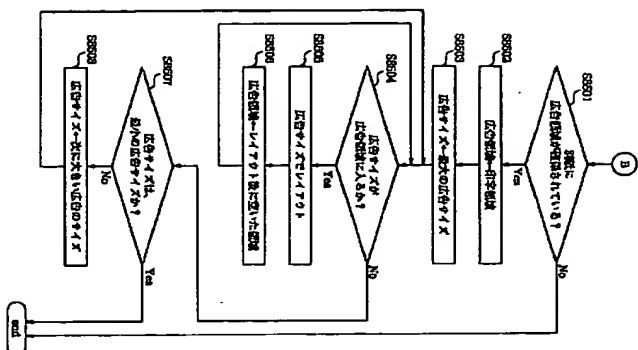


【図74】



【図78】

【図85】



フロントページの続き

(72) 発明者	堀永 真司 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ ン株式会社内	(72) 発明者	伊藤 公祐 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ ン株式会社内
(72) 発明者	井上 敦 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ ン株式会社内	(72) 発明者	泉 治郎 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ ン株式会社内
(72) 発明者	笠井 健司 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ ン株式会社内	(72) 発明者	玉利 真人 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ ン株式会社内
		(72) 発明者	日隈 旗 東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノ ン株式会社内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.